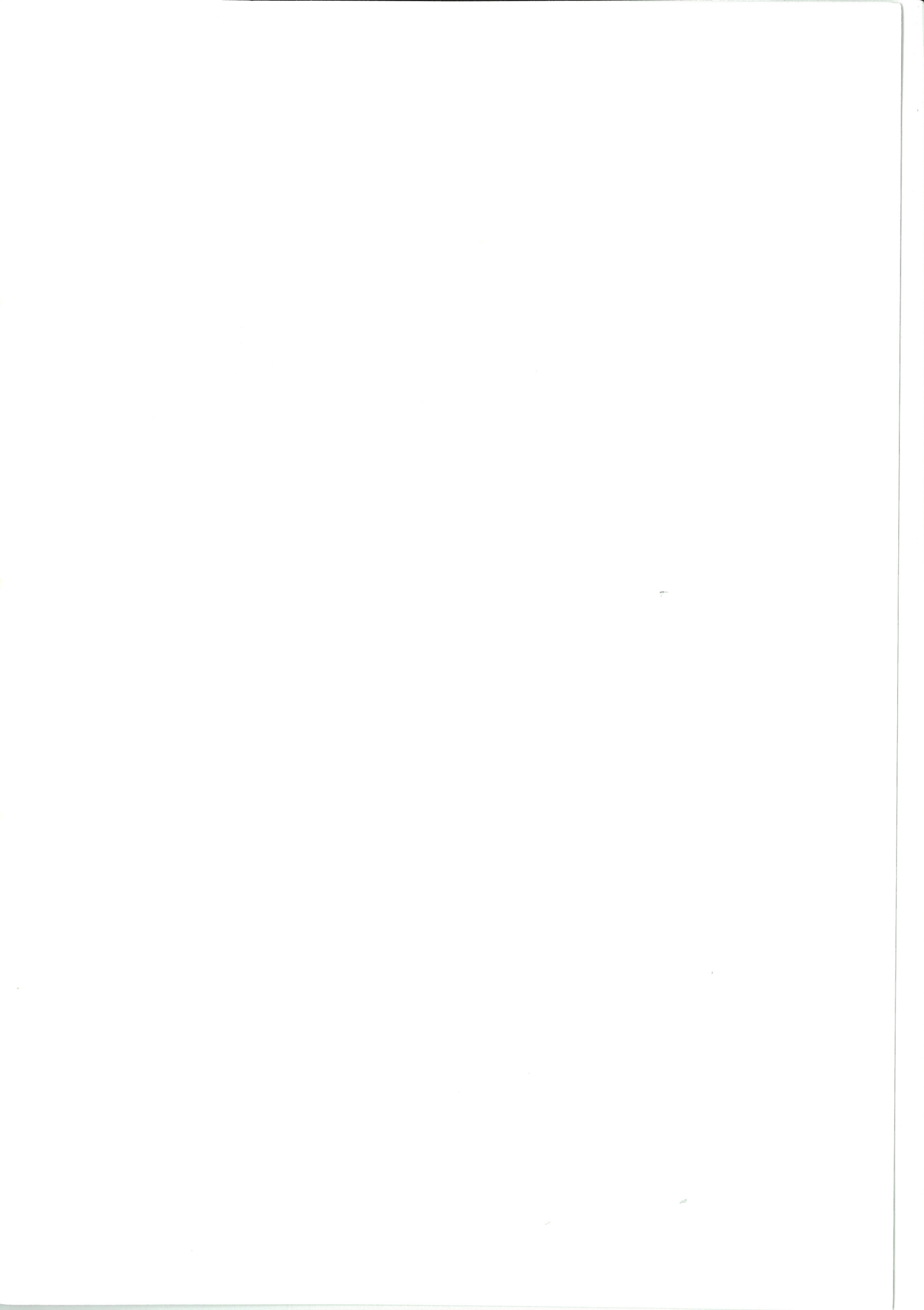


潜 魂

26号

2004年

長崎大学医学部潜艇部

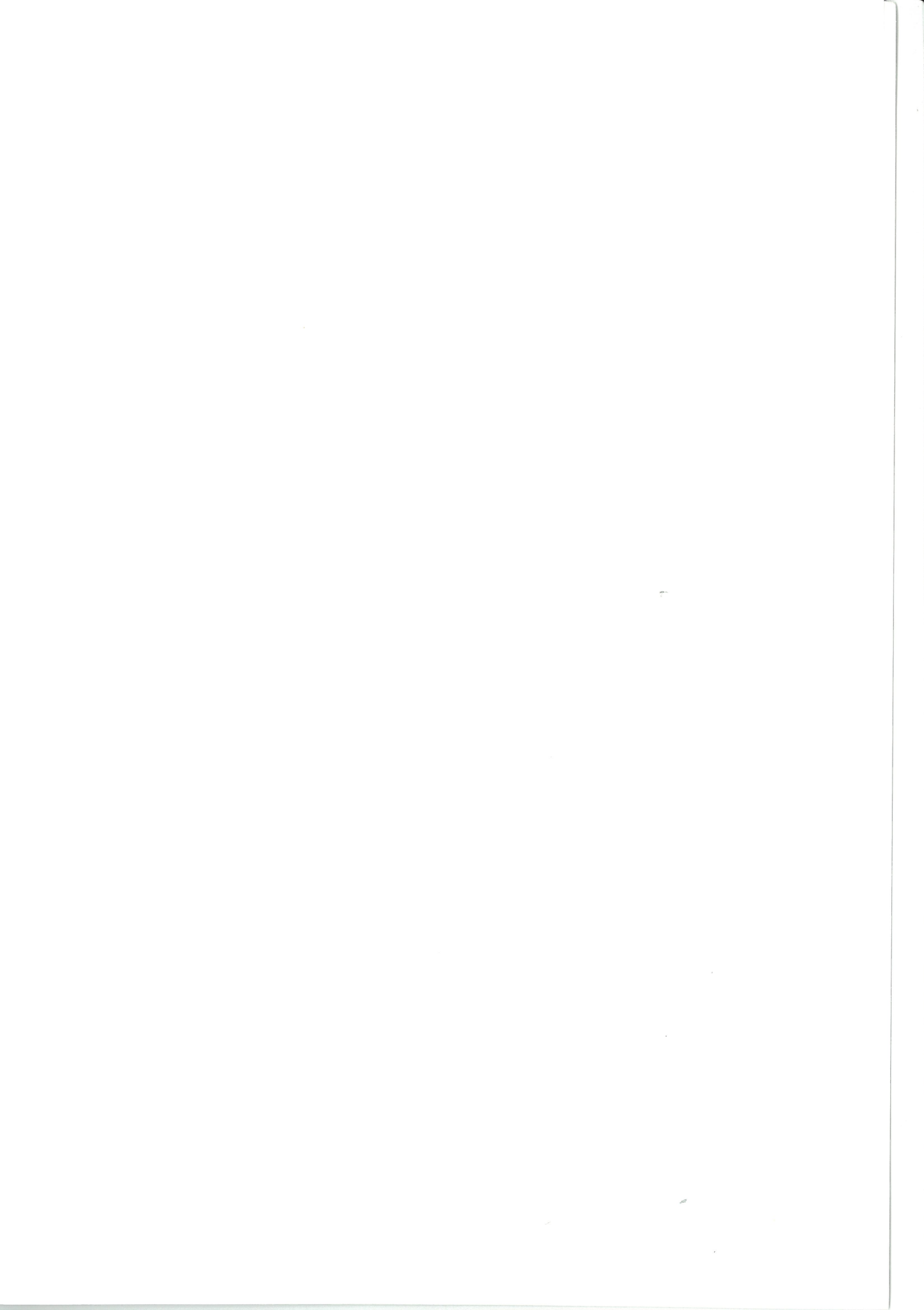


潜 魂

26号

2004年

長崎大学医学部潜艇部



卷頭言

我等が六歳を契る

絢爛の其の宴は実に過ぎ易し

然れども見ずや先達の嚆矢、

古りて猶燦然として輝き

我等が矜持、久遠に逸せざるを

友達よ、然に明日の運命を嘆かんよりは、

此の虞美露々丘に集いて、

去りては再び歸らざる

若き日の感激を謳わん。

漕魂の歌

作詞：今井雅之

作曲：岩井怜

一、 街を離れ ひたすらに
子々川の海へ 滑り出す
心地良い風 潮の薫り
キヤツチロー キヤツチロー
にじんだ汗が 流れだす
パドル行こう さあ行こう

二、 水を切り 走る崎陽の
シユルルと放つ 快音は
朝もやの海に 似合っている
キヤツチロー キヤツチロー
心待つのは 安らぎの
オールメン イージーオール
オールメン イージーオール

三、 スタート前の 緊張が
競り合う 気概と足蹴りに
ピッチを上げる コックスの声
キヤツチロー キヤツチロー
燃え尽きんと 漕ぎ続け
ああ喜びの トップゴール

琵琶湖周航の歌

作詞・作曲：小口太郎

我は海の子 さすらいの
旅にしあれば しみじみと
昇る狭霧や さざ波の
滋賀の都よ いざさらば

松が緑に 砂白き
雄松が里の 処女子は
赤い椿の 森陰に
はかない恋に 泣くとかや
波のまにまに 漂えば
赤い泊火 懐かしみ
行方定めぬ 波枕
今日は今津か 長浜か

瑠璃の花園 珊瑚の宮
古い伝えの 竹生島
仏の御手に 抱かれて
眠れ処女子 安らげく



2003年11月 久々復活の4校戦にて



2004年8月 岡山の西医体表彰式後

目次

寄稿 永山先生の教授就任について……………1

新主将挨拶……………2

卒業生紹介……………3

二年生紹介……………5

新入生紹介……………7

二〇〇二年度試合結果報告……………9

コックス記……………13

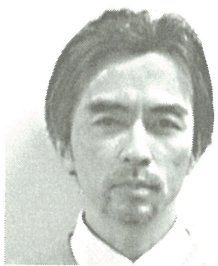
雑感……………21

平成十五年度長崎大学医学部漕艇部OB会収支報告……………34

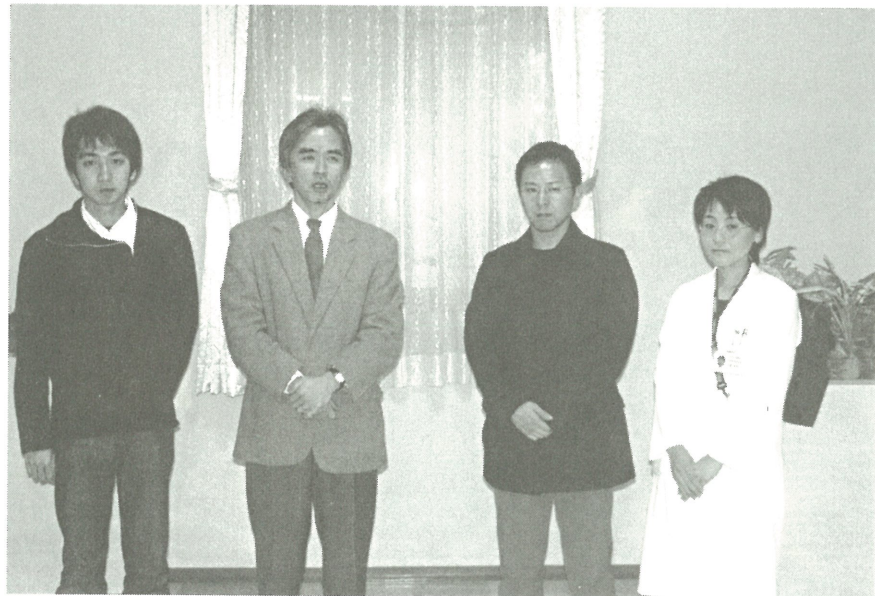
長崎大学医学部漕艇部OB会会則……………35

長崎大学医学部漕艇部OB会会員名簿・役員名簿……………36

編集後記……………54



原研分子 永山先生



新年会

寄稿

永山先生の教授就任

永山雄二先生（昭和五十八年卒）が、平成十六年一月四日付けで長崎大学大学院医歯薬学総合研究科原爆後障害医療研究施設分子医療部門分子設計応用研究分野（略称、原研分子）の初代教授に就任されました。先生の研究室は、平成十六年一月より本格的に始動した、先生のホームページによれば、「主な研究テーマは、生体成分である遺伝子・細胞を用いた癌及び自己免疫疾患の新規治療法開発の基礎検討です。さらにそれらの成果を臨床の場でいかすべくトランスレーショナルリサーチの展開も目指します。」（[//www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/genetech/genkenbunshi/index.htm](http://www-sdc.med.nagasaki-u.ac.jp/genetech/genkenbunshi/index.htm)）という新しい研究室です。

先生は、昭和五十八（一九八三）年に私たちの医学部を卒業し、本学第一内科、米国留学、第一薬理学の助教を経ての就任です。特に、University of California San Francisco の B. Rapoport 博士の研究室に留学されたことが「やがてらしい師との出会いは人の人生を変える」ことになり、ご専門の TSH 受容体のクローニングの成功という輝かし

い成果を残されています。（このお仕事は、Science に掲載され、最近、「Thyrotropin receptor」を二〇〇四年版の The Encyclopedia of Endocrinology and Endocrine Diseases (Martini L. (ed), Academic Press) に書かれています。）

漕艇部の現役としては、卓越した名整調でした。当時は、先年お亡くなりになった眼科の高久功教授が監督で、先生が東北大学ボート部のご出身というご縁があり、昭和五十五（一九八〇）年は、二年先輩の難波裕幸先生と、一年後輩の故今里雅之先生の三名で、東北大学ボート部の合宿（静岡県佐鳴湖）参加された事が、今日の我々のボートの隆盛の源といって過言ではありません。一流のクルーの漕法をマスターし、その成果を基盤に、ボート部の主将を昭和五十五年秋から昭和五十六年夏まで勤め、インカレにも初めて参加するという我々ボート部の輝かしい伝統の一コマを残されています。

私たち長崎大学医学部の若き研究リーダーとして、母校の発展に尽力されることを祈って、お祝いの言葉とします。

新主将挨拶

三年 村田 慎一

昨年度、残念ながらAクルーは西医体で準優勝という結果に終わってしまいました。毎年のように今年こそはと言いつつ、今回ようやく優勝が狙えるところで惜しくも逃し、大変悔しい思いをしました。また、B、C、Dクルーについても大変悔しい負け方をしてしまいました。

コーチをしていただいていた氏家さんが東京に帰られて、いまボート部には正式なコーチがいません。しかし、幸いなことにAクルーのCOXの福島は高校時代の経験者で、今回の西医体準優勝も彼の存在なくしてはありえなかったように思います。コーチがいない状況下、まして並べる艇が同じ大学内しかない練習状況下において、漕ぎのイメージをつかむのはとても難しいことであると思います。ですから、これからも強いわれらがボート部を維持できるように、部員全体での漕ぎのイメージや、技術的な要素の定着を図っていきたいと思います。もちろん、「結果を出すことがすべて、何がなんでも勝つ！」という気概のもと、Aクルーは優勝を狙います。

また、次に行われる西医体は、ここ長崎が主管を務めさせていただくことになりました。OBの先生方には何かとご迷惑をおかけするでしょうし、大会の準備で部員それぞれ

れが背負うことになる負担もでてくるかと思えます。また、私の力量不足でOBの先生方や部員に迷惑をおかけすることもあるかと思えますがよろしくお願いします。

◇卒業生紹介◇

猪狩 圭介

ボート部においてはローヤー、コックス、さらにはホームページの管理人として、ボート部外においても演劇部としてと、様々なところでマルチな才能を発揮され、活躍されていました。いつけん体育会系肉体派ばかりと思われがちなボート部の中にあつてワンアクセントとなる大変貴重な先輩でした。

(文責 四年 茅田 洋之)

近藤 学

近藤学先輩は、現役時代はエルゴも部活で一番回し、ラシもかなり速く、ボート部のお手本とすべき先輩でした。主将を務めていたときは、対抗クルーの整調としてよく他のメンバーに激を飛ばしていて、どちらかといえば怖いイメージでした。現役を引退したあと、飲み会に積極的に参加しだしたところからそのイメージは変わっていききました。飲み会では現役で漕いでいる時にはほとんど見せなかつた笑顔も見せ、親しみやすい先輩だと思えました。これからも患者をはじめ、まわりのみんなに親しみやすい人でい続

けてください。

田浦 康明

僕の中での、ボート部員としての田浦さんの印象はというと、やはりAクルーのCOXというイメージが強い。Aクルーの練習や試合の中で、クルーに指示を出し続けているなか、時々垣間見えた勝ちに対する熱いこだわりが、当時、入部したての僕にはかなり印象深く感じられた。僕自身も今シーズンはCOXをし、普段はとにかく冷静にローヤーの良し悪しな部分を見極めていこうと思つているがふと感情的になつてしまふ時もあり、田浦さんのようにはいかないな、と思つたこともある。また、COXといえば体重管理がつきものだが、シーズン中に六キロ痩せた僕の体重がオフシーズンの三ヶ月でもとの体重にリバウンドした一方、僕より身長のある田浦さんがオフシーズンもずっと五十五キロをキープしていたことを考えると相当な苦勞があつたのだろう。(今の体重は六十三キロらしい)引退しても、飲み会やサッカーによく顔を出してくださり、ドクター一年目の今でも飲み会に来てくださる、誰よりもボートの好きな田浦さんだからこそできたのではないかと思う。

田浦さん、今はものすごく忙しい時期と思われませんが、

(文責 四年 大場 修治)

またボート部に顔を見せてくれることを楽しみにしています。

(文責 四年 原口 雅史)

豊田 啓介

私個人的に言わせていただければ、まさにミスターシングルスカル。乗艇も一人、エルゴも一人、タンツェンも一人……。しかしながら誰よりも自分を追い込むその精神力にはいつも驚かされておりました。一見、強引かつ豪快、しかし合宿中は電気がついて明るかったりイビキがなったりすると寝られないとゆう繊細な面もあり、とても人間味あふれる先輩でした。

(文責 四年 茅田 洋之)

山口 仁平

自分に誠実に
逃げ道をつくらない
安易な妥協をしない

そんなことを仁平さんから学んだ気がする。

私が一年生の頃は、仁平さんは優しくして面倒見もよく、一般的に言う「いい先輩」だった。私も頼りにしてい

た。だが、学年が上がって来て私ら自身も後輩を持つようになってきて、仁平さんは厳しくなってきた。「中途半端な気持ちで部活に取り組むな」、「艇を大事に扱え」、「そんなじゃ示しがつかない」。自分にも厳しかった。些細なことでも悩み、考え、突き詰めていく。自分の成績が最近伸び悩んでいるとなると、独り黙々と体育館に通った。人に物を教えたり伝えたりするには、時として厳しくすることも不可避である。自分ががんばっていないのに他に厳しくするのをよしとしなかったのであろうか。ひたすら、自分に厳しかった。仁平さんがそうしようとしたのではないだろうが、我々はその背中から学んだ。

こう書いてみると、完璧超人か頑固者かと思ってしまうが、実はそうでもない(略)。ダーク系にまとめた上下に品の良いジャケットをざっくり着こなすが、ぞうり。飲み会でアツく語っていたかと思うと、脱ぐ。「メリハリがついている」ではなくて、「メリとハリが共存」していた。そんな仁平さんもご卒業。我々は言葉で伝えられたものよりもはるかに色褪せない、大切なものを受け取りました。まずは自分にインストールしてみようかと思えます。

(文責 四年 松浦 良樹)

吉武 記一

山口県防府高校出身の熱い男吉武さん。様々な趣味を持ち、色んなことをされていた吉武さんですが、ボートに関してとはとにかく真摯に練習に打ち込みAクルーとしても九山の優勝や二年連続西医体で決勝に出るなど大変活躍されました。

その鍛え抜かれた肉体で出したエルゴの記録や朝長杯やサッカーで見せる運動神経の良さに目が行きがちですが、私は何よりもその精神力に尊敬を抱いています。腰を壊したそのあとに腰をかばいながらゆっくりと淡々とランニングをし、痛み止めを射つて乗艇していた姿には感服いたします。まさに勝つことを貪欲に求め、最大限自分の出来ることをするという長大医ボート部の精神を後輩の僕達は学ばせてもらったと思います。

医療の現場においても患者さんのために際限のない努力をされるのでしょうか。これからも体気に気をつけてがんばってください。吉武さんの活躍を心からお祈りしています。

(文責 四年 西山 光郎)

◇二年生紹介◇

江頭 崇

彼は本当に人当たりの良い人物である。

(文責 福島)

小松 直広

彼は青雲出身のバスケットマン。ゆえに体力は申し分ない。容姿は一見さわやか系ではあるが、時として、イヤらしい目で男を見つめる姿に身の毛がよだつ。しかし、島原合宿で早くも学年一の呼び声高いかわいい女の子を彼女にして帰ってきたのには驚かされた。彼の信念は「早い者勝ち」であることは間違いないさそうだ。「速いもの勝ち」のボートの世界でもその信念を貫いてくれるだろう。

(文責 福島)

高橋 一臣

彼は稀に見る適当さを持ち合わせている。とりあえず「まじつすか」と言う。しかし運動神経ははずば抜けている。経験者を思わせる漕ぎを披露し、エルゴのタイムもなかなか

かである。本気になれば彼の右に出るものはいないだろう。

(文責 村田)

長 哲太郎

関西人の彼は、独特のノリとテンションで常に周りを朗らかにしてくれます。二年目の今年はBクルーのコックスとして、真剣にボートに取り組んでおり、また、カステラメイトのリーダーでもあり、医学の勉強に対してもまじめです。これからボート部を引っ張っていく存在になると確信しています。

(文責 笠原)

日野 直之

ちよつとぽつちやりした彼。彼には乳飲料(ビツクル)がよく似合う。彼はこのうえない「YES MAN」。「ですよねえ。」の返事がよく似合う。そんな彼はなかなかのがんばりやさん。ひたむきに限界越えエルゴにとりくむ。彼は日々上達している。一生懸命な彼、今後に期待が持てそうだ。

(文責 村田)

山本 悠造

個性派の多い新2年の中でも、強烈な異彩を放つ山本君

は黒いバッグを持たせたら、誰が見てもヤ○金融。現会計の原○さんのバックには彼がいるとの噂も。オールバックの髪に、冬は黒いコートに白いロングマフラー、彼のパワープロチームの一番打者名は鉄砲玉・・・パソコンのスクリーンセーバーには「闘争無限」という黒い言葉・・・そんな山本君もボートに対する思いは熱く、練習中に「お前ら蹴つたらんかい！」と博多弁で叫んだことも。彼ならボート部を間違ひなく黒い方向に、もとい、熱い方向に導いてくれることは間違ひないだろう。

(文責 笠原)

◇新入生紹介◇

梅田 雅孝

彼は四月一日に入部してくれた新入生の梅田君です。彼は佐賀県立佐賀西高等学校出身で高校の頃は剣道部に所属していたそうです。一年生はゴールデンウィーク明けから練習を開始して二週間足らずの練習で九朝に出ます。そこで彼は勢いのある漕ぎを見せてくれました。その後の芸でもすばらしい体の張ったものを披露してくれて私たちを沸かせてくれました。今後の彼の活躍に期待です。追伸；彼は自分の毛深さ（特にギャランドウ）を気にしています。がそこも彼の魅力の一つだと思えます。

（文責 小松）

古賀 俊充

岐阜県出身。背が高く、陸上部で短距離をやっていたように、将来が楽しみな新入生です。今年の新入生は皆すごく活発な印象があるが、中でも彼は話し好きで、口早で、テンションが高い。朝練中は彼の声がよく聞こえてきます。またお酒に弱く、少量飲んだだけで足や手が麻痺したようになつてしまったことがあります。飲み会の時は飲みすぎ

ないよう注意ですね。あと、本人曰く「岐阜では改造車じゃない車は運転できない」とのこと。車買ったら〇場さんの車みたいになつてしまわないか心配です。

（文責 日野）

友延 寛

彼はなんと私山本と同じ大濠高校中高一貫クラス出身で、いわば私の直系の後輩である。私は彼の顔を覚えて無かったが、彼はすっかり私のことを知っていた。その理由は、「だって一度みたら忘れられないじゃないですか。」だそう。一体どういう意味か……。彼は生協パーティーで初めてボート部の勧誘に参加し、いきなり入部した強者である。バーベキューではみんな次の飲み会に備えて余力を残しているそばでビール三杯をがぶ飲みし、弾けまくったあげくりバースし、九朝ではバリカンで自ら坊主にするなど、なかなか攻める男である。練習もガッツあふれる様子で、これからの期待度は大である。

（文責 山本）

濱口 陽

入部一年目にしてすでに幹部クラスの貫禄を出している濱口君。ボーリング大会では一番をとるなど多才さをみせ

ています。ノリがよく体力も根性もあり将来がとても期待できる人材です。

(文責 江頭)

松岡 若利

いわずもがな、ボート部のジャーニーズ系といえはこの男です。その実力は、ボート部一年生全員が、ある合コンに参加した際、他の一年生が女の子から蔑みの言葉を浴びせられる中、一人「プリンス」と呼ばれていた事からも明らかです。林中込杯の時にも、松岡の雄姿を一目見ようと、往年のイケメン好きが鼻息を荒くして雨の中、医学部体育館前に集まったと言われています。実は五人兄弟の長男ということ、しつかりした一面もあり、可愛い顔してわりとやる、ボートに対する気持ちも熱いものがあります。これからボート部を盛り立てていってくれる逸材の一人でしょう。最後に老婆心ながら一言。これからちよっかいを出してくる女もいろいろいると思うけど、そんな女は *don't think... feel it*。

(文責 長)

二〇〇二年度試合結果報告

二〇〇三年度九州・山口医科学生体育大会

二〇〇三年四月二十日

対抗戦

| | | |
|---------------|---------|----|
| 宮崎大学医学部 (天照Ⅱ) | 四分〇四秒三四 | 一位 |
| 佐賀大学医学部 (魁偉) | 四分〇五秒七四 | 二位 |
| 長崎大学医学部 (蓋世) | 四分一二秒二二 | 三位 |
| 産業大学医学部 (煌牙) | 四分一六秒〇九 | 四位 |
| 福岡大学医学部 (早良) | 四分三九秒五八 | 五位 |

オープン

| | | |
|---------------|-------|--|
| 佐賀大学医学部 (魁翔) | データなし | |
| 長崎大学医学部 (鴻図) | データなし | |
| 福岡大学医学部 (玄海) | データなし | |
| 宮崎大学医学部 (日向Ⅱ) | データなし | |

| | | |
|--------------|---------|----|
| 長崎大学医学部 (鴻図) | 四分一八秒五四 | 一位 |
| 佐賀大学医学部 (魁翔) | 四分一九秒六〇 | 二位 |
| 佐賀大学医学部 (浮立) | 四分四〇秒七七 | 三位 |
| 福岡大学医学部 (七隈) | 四分五四秒四二 | 四位 |

ダブルスカル

| | | |
|--------------|---------|----|
| 長崎大学医学部 (碧) | 四分三九秒七三 | 一位 |
| 宮崎大学医学部 (照葉) | 六分二七秒一六 | 二位 |

二〇〇三年度九州朝日レガッタ

二〇〇三年五月十七日、十八日

| | | |
|--------------|---------|----|
| シエルフォア | | |
| 山口大学 (大和) | 三分四六秒三五 | 一位 |
| 山口大学 (羅漢) | 四分〇二秒三四 | 二位 |
| 長崎大学医学部 (蓋世) | 四分〇六秒三〇 | 三位 |
| 佐賀大学医学部 (魁偉) | 四分〇七秒七八 | 四位 |
| 佐賀大学医学部 (魁翔) | 四分二六秒八六 | 五位 |

| | | |
|--------------|---------|----|
| 熊本大学 (竜水) | 四分〇二秒四八 | 一位 |
| 山口大学 (早鞆) | 四分〇四秒一六 | 二位 |
| 長崎大学医学部 (鵬翼) | 四分〇五秒九七 | 三位 |
| 九州大学 A | 四分一四秒四一 | 四位 |

山口大学 (鳳陽II) 四分一八秒二六 一位
 佐賀大学医学部 (魁偉) 四分二〇秒九〇 二位
 長崎大学医学部 (鵬翼) 四分二一秒五五 三位
 九州大学B 四分二五秒九一 四位
 佐賀大学医学部 (魁翔) 五分〇四秒四四 五位

長崎大学医学部 (雄図) 二分二九秒四四 一位
 福岡教育大学 二分二九秒七三 二位
 産業医科大学 & 佐賀大学医学部 二分三五秒七九 三位
 産業医科大学 (英駿) 三分〇一秒二八 四位

長崎大学医学部 (蓋世) 四分一三秒七六 一位
 九州大学A 四分一四秒八七 二位
 産業医科大学 (煌牙) 四分二四秒〇四 三位

産業医科大学 & 佐賀医科大学医学部 二分〇九秒九五 一位
 長崎大学医学部 (鴻図) 二分三一秒五八 二位
 佐賀大学医学部 (ハルカ) 三分〇九秒三〇 三位
 産業医科大学 (楊炎) 三分一九秒九〇 四位

山口大学 (大和) 三分二八秒七〇 一位
 山口大学 (鳳陽II) 三分三四秒八一 二位
 山口大学 (早鞆) 三分三五秒四一 三位
 長崎大学医学部 (蓋世) 三分四〇秒八七 四位
 新日鉄八幡 三分四一秒五二 五位

BUSTURS CREW 二分〇〇秒九五 一位
 長崎大学医学部 (雄図) 二分三四秒〇六 二位
 長崎大学医学部 (鴻図) 二分四四秒九九 三位
 久留米大学医学部C 三分一四秒九一 四位

ナックルフォア

BUSTURS CREW 一分五三秒八二 一位
 唐津市役所 二分一三秒一五 二位
 長崎大学医学部 (鴻図) 二分四〇秒三三 三位
 佐賀大学医学部 (イグアナ) 三分〇六秒一四 四位
 産業医科大学 (翔飛) 三分一九秒七九 五位

二〇〇三年度西日本医科学生体育大会
 二〇〇三年八月一日〜三日
 一般シエルフォア 三分二一秒六二 一位
 浜松医科大学 (湍) 三分二一秒六二 一位

| | | | | | |
|---------------------|---------|----|-------------------|---------|----|
| 宮崎大学医学部 (天照Ⅱ) | 三分二三秒二三 | 二位 | 長崎大学医学部 (鵬翼) | 三分一八秒一〇 | 一位 |
| 京都大学医学部 (芝蘭) | 三分二七秒〇二 | 三位 | 岡山大学医学部 (天風) | 三分一九秒三六 | 二位 |
| 大阪大学医学部 (PERSEUS Ⅱ) | 三分三五秒六〇 | 四位 | 宮崎大学医学部 (天照Ⅱ) | 三分二二秒四七 | 三位 |
| 長崎大学医学部 (カステラ一号) | 三分四二秒六九 | 五位 | 大阪大学医学部 (TRISTAN) | 三分二五秒七二 | 四位 |
| 長崎大学医学部 (鵬翼) | 三分一七秒四六 | 一位 | 長崎大学医学部 (蓋世) | 三分三三秒七七 | 五位 |
| 鳥取大学医学部 (el viento) | 三分二五秒六四 | 二位 | 産業医科大学 (煌牙) | 三分三七秒二九 | 六位 |
| 産業医科大学 (煌牙) | 三分三〇秒〇四 | 三位 | 佐賀大学医学部 (魁偉) | 三分二八秒五四 | 一位 |
| 浜松医科大学 (澆) | 三分四〇秒二一 | 四位 | 浜松医科大学 (澆) | 三分二八秒八七 | 二位 |
| 福岡大学医学部 (早良) | 三分四〇秒二一 | 五位 | 和歌山県立医科大学 (青州) | 三分二九秒三七 | 三位 |
| 長崎大学医学部 (蓋世) | 三分二九秒〇〇 | 一位 | 長崎大学医学部 (蓋世) | 三分三一秒三三 | 四位 |
| 和歌山県立医科大学 (青州) | 三分三〇秒四九 | 二位 | 浜松医科大学 (瀛) | 三分三九秒五七 | 五位 |
| 大阪大学医学部 (TRISTAN) | 三分三二秒一〇 | 三位 | 宮崎大学医学部 (天照Ⅱ) | 三分二〇秒一四 | 一位 |
| 浜松医科大学 (瀛) | 三分三六秒三三 | 四位 | 長崎大学医学部 (鵬翼) | 三分二一秒六三 | 二位 |
| 浜松医科大学 (澆) | 三分三四秒六七 | 一位 | 滋賀医科大学 (飛騨) | 三分二二秒〇二 | 三位 |
| 金沢大学医学部 (重徳) | 三分四一秒五二 | 二位 | 京都大学医学部 (芝蘭) | 三分二三秒一四 | 四位 |
| 長崎大学医学部 (カステラ一号) | 三分四四秒九二 | 三位 | 佐賀大学医学部 (魁偉) | 三分二六秒六二 | 五位 |
| | | | 和歌山県立医科大学 (青州) | 四分三一秒二一 | 六位 |

岡山大学医学部 (天風) 三分一五秒四一 一位
 鳥取大学医学部 (el viento) 三分一六秒九四 二位
 滋賀医科大学 (飛騨) 三分一七秒八九 三位
 宮崎大学医学部 (天照II) 三分一九秒〇三 四位
 長崎大学医学部 (鵬翼) 三分一九秒四二 五位
 浜松医科大学 (澆) 三分二四秒〇二 六位

新人シエルフォア

宮崎大学医学部 (日向) 三分三六秒〇四 一位
 滋賀医科大学 (泰斗) 三分三七秒二〇 二位
 産業医科大学 (桃太郎) 三分四四秒〇六 三位
 岡山大学医学部 (天啓) 三分五六秒九三 四位
 長崎大学医学部 (雄図) 四分三一秒三七 五位

長崎大学医学部 (鴻図) 三分四四秒八〇 一位
 産業医科大学 (桃太郎) 三分四六秒〇七 二位
 長崎大学医学部 (雄図) 三分五二秒七〇 三位
 大阪大学医学部 (volistan type R) 四分〇〇秒一七 四位

滋賀医科大学 (泰斗) 三分三八秒六五 一位
 浜松医科大学 (チエリーボイズ2) 三分三八秒八二 二位
 滋賀医科大学 (春叡) 三分四〇秒四〇 三位
 金沢大学医学部 (AMAZON) 三分四〇秒九五 四位
 大阪大学医学部 (こはる type S) 三分五〇秒九二 五位
 長崎大学医学部 (鴻図) 三分五九秒〇二 六位

滋賀医科大学 (春叡) 三分三一秒四〇 一位
 和歌山県立医科大学 (虎伏) 三分三八秒一〇 二位
 長崎大学医学部 (鴻図) 三分四八秒一〇 三位
 浜松医科大学 (三谷幸喜とゆかいな仲間たち) 三分四八秒四〇 四位
 久留米大学医学部 (篠山) 四分〇〇秒九八 五位
 大阪大学医学部 (volistan type R) ローヌ侵害

滋賀医科大学 (湖神) 三分四二秒〇〇 一位
 京都大学医学部 (紅駿) 三分四四秒二七 二位
 産業医科大学 (桃太郎) 三分四七秒三〇 三位
 大阪大学医学部 (こはる type S) 三分四七秒六七 四位
 金沢大学医学部 (AMAZON) 三分四八秒七九 五位
 長崎大学医学部 (鴻図) 四分〇一秒五七 六位

SCOX記

Aクルー記

三年 福島 真典

春く九山

今年のAクルーは昨年と二人代わって、三年の村田と笠原が加わった。昨年の方針としては西医を目標にこつこつと低ピッチでの漕ぎ込みを重視したが、九山や九朝で結果が残せず自信を失いぎみであったため、今年は個々の大会に照準を合わせていくことにした。

まず九山まで一ヶ月もなかったため、低ピッチでの漕ぎが満足に出来ていないながらも、今の状態での最高の艇速を九山にむけてつくっていった。

九山

対抗戦：スタート直後、長崎、熊本、佐賀の三艇が並んだ。ローイングでも佐賀を引き離せなかった。佐賀がコンスタントに入り落ち着きだした三〇〇〜四〇〇の早い段階で一気に引き離しにかかった。それがうまくいき五〇〇〜六〇〇の時点では一艇身以上差をつけた。ラストスパートではたつきだいたい逼迫されたが、一位でゴール。

次は九朝に向けて、再び低ピッチに戻しキャッチからフィニッシュまで効率よく水をつかむ練習をつんでいこうと思う。

九朝

予選：スタート直後三艇が並んだがコンスタントに入るころには山口大「羅漢」と一騎打ちに。五〇〇手前の足けりからやつと出始めて、差を広げながら一位でゴール。

準決：五〇〇手前まで山口大「トマト」がついてきたが、足けり以後引き離しに成功。次に決勝が控えていたため七〇〇以降のスパートはいれずにいたが、ゴール前で山口が追い上げてきたのでラスト五〇mはペースを上げて一位でゴール。

決勝：スタートは山口大「トマト」と並んで出発。この時点で熊本学園大には半艇身リード。前半五〇〇までで勝負を付けてしまおうと頑張り、山口大を離し半艇身リードで七〇〇mを一位で通過。その後のスパートで艇速あがらず、あれよあれよと言う間に山大、熊学に抜かれ、その後はガクツと艇速落ちて三位でゴール。

九朝三位というのは近年の成績ではまずまずの結果のようである。いつもスタートで先行しそのまま勝つパターンでやってきたため「スタート出て、五〇〇過ぎれば何とかなる」という思いがあった。しかし今回の山大や熊学のように自力のあるクルーは最後まであきらめずに力を発揮し

てくる。これを教訓にこれからはスタート先行に加え、ラスト三〇〇からさらに飛び出せる爆発力を養ってほしいと思う。そのためには、最後のスパートをかけるときまで漕手には冷静でいてもらい、ラスト三〇〇を勝負に思い、がむしゃらになるのはここから先にしてほしい。

梶漕

予選：スタート直後、他とは半艇身飛び出し、ローイングでさらに引き離し、トップCOXからは振り返っても、もう他の艇は見えなくなった。結局二位とは十七秒差でゴール。

決勝：予選から優勝できるのは分かっていたため、課題のラスト三〇〇からのスパートできっちり艇速を上げることがを目標にして望んだ。残り三〇〇からのスパートではピッチは一・五枚、艇速は少しあがったが、ラスト一〇〇からのラストスパートではあがらず、目標にしていた爆発力には程遠い内容であった。

梶漕では優勝したが、九朝からの練習目標はまだまだ達成できていなかった。ここから二ヶ月ほど西医体まで期間があり、試合もなく力を試す場所がない。したがって、日々の現状に満足せず、常にもう一步先を目指して練習していかなければならない。

西医体

西医体一ヶ月以上前から、今度こそ優勝するぞと思い、優勝のシーンを思い浮かべ、西医体がはじまるのを心待ちにしている自分がいた。しかし周りのクルーの実力は全く分からないので、もし通用しなかったら：という最悪なイメージも頭のほんの片隅にいつもあった。

予選：COXとしてかなり緊張したスタート前であった。この試合で通用するのかもしれないのか分かるからだ。あの意味決勝みたいなものだった。

スタートの合図とともに一艇だけ飛び出し、一位。これですっかり緊張も取れリラックスして声をかけられた。そのまま一位でゴール。決勝進出はまちがいないと思った。

準決：今回の西医体の優勝候補と名高い浜松の対抗（関朝でいいとこまでいったらしい）と同じ試合だった。まず浜松をマークして試合に望んだ。スタート同時に一位、ローイングでさらに出て浜松とは一艇身以上差をつけた。七〇〇mすぎ、次の日の予行演習として課題のスパートをいれた。切り替えがうまくいき浜松の追い上げもくわらず一位でゴール。

決勝：去年はここで実力を出し切れなかったもので、正直恐かった。だから悔いの残らない試合をしたかったので、「スタート一本目意識しろ」、「無意識に漕ぐ本数をなくすこと」、「気持ちで負けるな」を何度も何度も言った。

緊張のスタートの後、ローイングの声をかけるまでコース取りに専念して、冷静にあたりを見ると前に艇のいない

いつもの風景だった。しかし逆サイドに宮医が並ぶようにくらくらいついていた。一漕ぎ一漕ぎで順位が入れ替わる状態だった。六〇〇m過ぎたあたりからジリジリと前に出られ差を広げられてゴール。

二位で終わってしまった。

ゴールした瞬間、優勝のがした悔しきでたまらなかった。クルーのみんなもそのようだった。ここで誰も二位という結果に満足しているやつがいなかったのが、せめてもの救いだ。ここで二位になれてよかったと言ひ出す者がいたら、僕自身が不完全燃焼になってしまっただろう。

Bクルー記

二年 長 哲太郎

丸山

男子四十予選A

コンデイションはやや順流。スタートと同時にまず、蓋世、魁翔、英駿が並んで出た。ローイングが終わり、コンスタントに入つて、二五〇メートルの時点で、魁翔と四分の一艇身離されていた。英駿は蓋世からこれも四分の一艇身離されていて、魁翔、蓋世、英駿の順である。パドルでジワジワ魁翔が始め、六〇〇メートルでは二分の一艇身

から一艇身差つけられる展開になった。同じように蓋世は英駿に二分の一艇身くらい差をつけていた。三艇とも特にラストスパートを入れることなくそのままフィニッシュした感じであった。

男子四十決勝

コンデイションは悪い。波が立ち雨もまばらに降り始め、逆風。スタートから蓋世、魁翔、浮立、鴻図の順に出た。蓋世はローイング終了時には一位だったように思う。ただ、ほとんど後ろと差が無かった。コンスタントに入つて、魁翔、浮立に徐々に話されていく展開になり、五〇〇メートル付近で強い逆風に煽られ、バランスを失い、気づいたときには魁翔と一艇身、浮立と二分の一艇身離されていた。それから、足蹴りを入れた後に、船の向きが変わり、危うくレーン侵害してしまうところであった。もたついているうちに、魁翔と一・五艇身、浮立と一艇身差をつけられていた。残り三〇〇メートルで二枚あげ、残り一五〇メートルでさらに二枚あげたが、ピッチはそんなに変わらさず、魁翔、浮立に二分の一艇身ほど差をつめたが及ばなかった。

西医体

予選D組

スタート地点は、整調サイドからバウサイドに流れがあつて、バウがチョボしながらのスタートになった。スター

トのピッチは四一・五と普段から比べると高く、ローイングのピッチも三八と高いものだった。ローイング十五本が終わったときに、滋賀医、飛騨と並んでいて、浜松医、湍とブリッジ差くらいであった。コンスタントに入ってから、二五〇メートル地点で、湍と四分の三艇身差。飛騨とも四分の一艇身差ついていた。虎伏、PERUSEUS IIとは二艇身からの差があつたので、五〇〇メートルの足蹴りもいれずに、流した。七五〇メートルからのパドルのピッチは二九と低いもので、湍、飛騨とグングン離されていった感じである。結局、湍とは一二秒、飛騨とも七秒差ついていた。もちろんどつちの艇もスパートとか入れずに流したようであつたが。

敗復D組

スタート地点のコンディションは朝と同じ感じで、やや、整調サイドからの水の流れが強まった感じであつた。スタートのピッチは三九、ローイングのピッチは三六という感じでこの、スタートローイングで、二番目の瀛とブリッジ差つけた。こちらがローイングを止めた時に、あちらはまだローイングがつづいていたようだったので、足蹴りを入れ、差を保って二五〇メートル地点へ。しかしそこから、ブイを読み違つたのかレーン侵害してしまつて、四〇〇メートルから五〇〇メートルでは、あわや接触の危険もあつた。それから蓋世は、自分のレーンに戻つたが、時す

でにおそしという感じで、レーン侵害で除外された。まっすぐ進んでいるとばかり思つていたし、自分たちが注意されているのではなく、浜松が注意されているとばかり思つていた。なぜ、左からのブイの数を確認できなかつたのか？本当に悔やんでも悔やみ切れない。競つて、若干のリードを奪つて逃げる展開を今まで経験した事がなかつたからだろうか。今まで自分は隣のレーンとで競るということを経験したことが無かつたばかりに焦り、視界が狭くなつていたのだろう。今更悔やんでも仕方が無いのだが、百間川に大きな忘れ物をしてしまった。

Cクルー記

四年 原口 雅史

九山：クルーはS山本 三荒木 二日野 B冬野。予選は、ローイング終了時に佐賀のCクルーに半艇身出られ、久留米と並び三位。五〇〇メートル時に佐賀に一艇身差、久留米に一／四艇身差つけられるが、そこからリズムを立て直し、久留米を抜き返し佐賀に一艇身つけられたまま二位でゴール。決勝はローイングした時点で佐賀のB、Cクルー、蓋世に出られる。佐賀の二艇には少しづつ離され、開始一分で足蹴りを入れるが差は縮まらず五〇〇メートルすぎた

時点で佐賀とは三、四艇身差つけられ、蓋世にも約一艇身差つけられる。足蹴りをもう一度入れ、七〇〇メートル地点で蓋世との差を若干縮めるが二枚上げとスパートが決まらず、五位の産業医科にやや差を縮められるがそのまま四位でゴール。結局、一位の佐賀のBクルーには一〇秒以上の差をつけられ、蓋世にも一艇身差以上つけられ、悔いの残るレースにはなったが、クルーのみんなはいつもより高いピッチでよくがんばってくれたと思う。

九朝：新入生クルーが二艇ありながら、一艇分しかエントリーしていなかったため、一試合目をDクルー、二試合目をCクルーがするという形をとった。予選(五の一上がり)は、スタートからパドルという形をとったが、スタートで失敗し初めは三位争いの展開に。しかし、そこから遅れることなく三〇〇メートル付近では二位になり、一位と四分の一艇身差まで詰めたが差しきれずに二位。Cクルーで臨んだ敗復(五の二上がり)は中盤でシート外しや切れ込みが目立ち、三位のまま予選敗退。結果はまあまあだったが新入生には試合の楽しさを感じてもらえたのが何よりも良かった。

県漕：ポジションチェンジを行い、S：古賀 三：梅田
二：濱口 B：荒木で試合に臨む。レースは四一二上がり。
スタートから離され四位であるが、五〇〇メートルまでは

三位と二、三艇身差で食らいついていったが、その後は体力の限界やモーターボートの波でバランスを失い、フォームはばらばらになり、四位でゴール。西医体までは体力アップとフォームの固定を目指してロング漕を続けていきたい。

スタートはミドルが大きく抜けたため一艇身差をつけられた。コンスタントのピッチ二九。中盤まで足蹴りなどで追い返すものの、佐高専は最初から流している様子だったし、一年生の体力のことを考えて後半でピッチを二四まで落として「丁寧な漕ぎ」を目指した。スタートはひどかったが、空漕ぎ、半切れ込みなどが目立ちあまり良い試合ではなかった。事実、ローヤーにも心身ともにストレスが溜まったようだ。

西医体：今年は西医体直前に一週間ほど合宿を組むことができたので、去年よりは練習ができた一年クルーだったと思う。練習は直前までノーワーク、ライパを中心としたフォアにとにかく時間を割いた。

試合一日目、予選。スタートは苦手にしていなかったためか、出遅れることなく三艇での一位争いの形になる。五〇〇mを過ぎたあたりで、僕がコースに慣れていなかったためか進入コースを一度間違えてしまい、慌てて元のコースに戻すがその間に二位と若干の差がついてしまいます。残り一〇〇mの入る時に縮まっていたものの以前三位。スパ

トを入れて間もなく三番のシートが外れてしましこれまでか、と思つたとき、レンジが切れて急にリズムがあがつたせいかまつたく減速せずむしろ加速する。二位の浜松艇のスパートが決まらなかつたこともあり、最後で差して二位。準決勝進出。

試合二日目、準決勝、今度もスタートが決まり、しかも、一試合目と違いスムーズにコンスタントに移ることができ、スピードも全く落ちずに一位の宮崎と一艇身差、三位の京都と半艇身差の単独二位に。五〇〇m地点を過ぎたあたりで、長大普賢のオールが金沢大学のオールにぶつかってしまった、ルールによつて同大学の我がクルーも失格になる。

今シーズンは初のコックスになり、一年クルーのクルーキヤップとしてシーズンを振り返ってみると、今年的一年はよく練習をこなしてきたと思う。練習やメニューのことで、五人でよく話し合うことも多かった。九朝でも県漕でも全く歯が立たなかつたDクルーと互角の試合をできたことには、素直に自身を持つていいと思う。決勝にはあと少して手が届かなかつたが今シーズのやる気を見れば、来シーズンこそは良い結果が期待できるのではないかと思う。今年で引退のコータローさんにもお世話になりました。

Dクルー記

県漕

スタートは練習量に比べたら良い出来だった。やはり基本的な力量の差からか、中盤までで佐高専に2・5艇身差をつけられていた。しかし、後半は追い上げて半艇身差まで詰め寄つた。Dクルーは後半の伸びが素晴らしく、疲れて漕ぎは荒くなるものの、気合などの頑張りが素晴らしかった。タイムも目標をはるかに上回るもので十分に満足できた。

西医体

「すいません！眉毛忘れてきました！」

朝早く、満面の笑みで言われると、眠気とヤル気が吹っ飛ば。

Dクルーは非常に楽しいクルーだったように思う。Cクルーとの対抗意識も厭味なくあり、向上心、テンション、一途さ、長大ボート部に必要なものがあつた。

Aクルー、Bクルーの漕ぐ時の感覚はクラシックの域に近い。それも、ベートーヴェンの様な、カッチリ決まると極上の芸術品になるような。Cクルーはジャズに近かつた。数多くセッションをこなし、一人一人に強烈な個性があり、見せ場ではその個性がキラキラ光っている。西医体で上を

シングルスカル記

三年 大場 修治

目指すために、試合までにCOXとしてビッグバンドに近い形に持って行きたかった。ウッディ・ハーマン楽団なんていいなあ。となると、フォーブラザーズだ。ちようどローヤーは四人だし。ああ、知らない人御免なさい。簡単に言えば、かつちよいいサックス吹き四人！

基本を丁寧な、みっちり練習出来たと思う。試合が近くなってきた時に腰などをちよつと痛めたりもしたのが残念だった。でも、気持ちが途切れる事は無かった。繰り返しになるが、とても楽しいクルーだった。

予選

スタートは切れ込みがあつて、バラバラ。二〇〇までローイングで三番手、そこから七五〇まで二位と一艇身。残り二〇〇でスパートをいれたが決まらず、のこり一〇〇で差されて四位。

敗者復活

スタートなかなか決まり、二五〇でコンスタントに入る、その時点で三位と一艇身、一位と半艇身、そのまま三位と差をつけながら二位でゴール、準決勝進出。

準決勝

スタート、合わず。切れ込み、多発。二五〇地点で隣のクルーのオールと接触し除外とされる。

春から自分の強い要望によりシングルスカルに移る。

丸山はシングルスカルのエントリーは一艇のみ。一〇〇〇mの記録を残すために出漕。試合は女子のダブルスカルと二艇レース。雨が降ってきたために早めにスタート。いきなり一本目で右が切れ込みスタート失敗、それでもスタートスパートが終わるころには視界にダブルが見えて少し安心した。蛇行しながらもぎりぎりレーン内にとどまっていたが、七五〇m地点でまた右が切れ込んで失速。スパートも思ったよりも伸びずにバタバタしてゴール。課題が多く残る試合結果となった。

今年の夏は去年と違い夏に二週間の合宿ができました。ただ、去年のオフシーズンから徐々に腰を悪くして、整骨院に通ったり、練習も自分が思うよりできないまま西医体を迎えました。

西医体予選、二艇の棄権のため三の三上がり。明日に疲れを残さないようにコンスタントのピッチも上げずに流して三位で準決勝進出。準決勝、四の二上がり。スタートで一艇が抜け出て、一艇が出遅れて二位・三位争い。五〇〇mまでは相手の艇が見えていたが、そこから徐々に離され始めたので足蹴り。約半艇身差まで差を詰めて八〇〇m地

点。最後、早めにスパートをいれてほぼ並んだと思ったとき、あと五〇mを残して痛恨のミスで切れ込み。ミスしたときの自分が信じられなかった。結局三位で準決勝敗退。

雑感

最近衝撃を受けたこと

五年 荒木孝太郎

テレビをつけたら偶然やっていた「世界の珍スポーツ」。
エルゴを引く世界のマツチヨ達。

コメンテーターの一言。

「ボートを漕ぎたいのに水が嫌いな奇妙な人たちでした」
衝撃的。

また、テレビ。

医者を非難する番組でのゲストのコメント。

「医者になるのが簡単すぎる。医師国家試験の合格率が九割を超えている。合格率六割の自動車免許より簡単な試験とはひどい話だ！」
ひどいコメントだ！

沖縄でのこと。

夜歩いていたら、突然大勢のおじさんたちに囲まれて腕を触られまくった。

「腕相撲大会に出ていたサー」「出てた出てた」「あんた

惜しかったサー」
誰が？俺が？

最近毎日乗艇している。確実にみんな上達してきた。
今日、試験休みに入る前の最後の練習だった。

が、パドルで艇の伸びをまったく感じられなかった。
コンディションが悪かったせいかな？

もつとうまく乗れていたはず。
オールメンの息も合っていない。

まだまだ乗り足りない、そんな悔しい終わり方だった。
艇を拭いている整調の瞳にうつすらと涙が：

西医体まで後わずか、気合を入れなおして漕ごう。

ぐっさん、うめ、はまぐち、オールメンでローアウトだ！
古賀に涙は似合わないぞ！

雑感

五年 夏田 孔史

勝てぬなら やめてしまおう オアーズマン

勝てぬなら 勝たせてみせよう オアーズマン

勝てぬなら 勝つまで漕ごう オアーズマン

※オアーズマン (Oarsman) : 頭の中がボートでいつぱいの人のこと。O₂はオール。先輩からの電話で目が覚めた時に、思わずすいません寝坊しましたと言いつつなり、水面を見るたびにコンディションを気にしてしまうあなたはもう末期のオアーズマンです。

僕はもう引退してしまいますが皆さんは是非勝つまで漕いで下さい。

雑感

五年 冬野 誠也

時代はとうとうここまで来てしまったか。和佐野さん携帯購入。和佐野さんが時代に追いついたのか、時代が和佐野さんに追いついたのか。まあ、そんなことはどうでもいいのだが、まだ一度たりとも和佐野さんからメールがきたことがない。自分も初めての登録してくださいっていうメールしかしてないのだが、俺と和佐野さんの仲だし、一度もメールが来ないというのはおかしい。ちゃんと使い方がわかってるのかすごく心配である。しかし理工学部卒で、今どきウィンドウズよりMSの直接入力の方が使いやすいと言わしめた、パソコンの原理までマスターしている和佐野さんが、たかが携帯ごとき使えないはずがない。いや、

パソコンの方が使い易いとか言つて、結局携帯を目覚まし程度にしか使つてないのかも。うーむ、ありえる。

こんな話がある。とある休日(ボート部の休日とは週末ではなく、次の日朝練のない月曜とか火曜のだが)いつものごとく浜口の某居酒屋にて、部員男ばかりで楽しく、しかしどこか寂しく飲んでいた。こういう時はたいてい何時であれ、都合も考えず(たいてい彼女)、ボート部の先輩後輩に電話して暇人見つけてはなれば無理やり、時には逆ギレして呼び出す。しかしこの日はことごとく断られ、どことなく盛り上がりも下向きだったその時、俺がひらめいた。「そうだ、和佐野さんを呼ぼう!」その瞬間、皆のしょんぼりしていた目が輝きだし、気がついたら電話に手をかけている俺と、そんな俺をじつと瞬きひとつしないで見つめる皆がいた。「トゥルル、トゥルル」いっこうに家電にはつながらない。「またか。」皆の期待は失望へと変わる。電話を切り一縷の望を賭けて和佐野さんのパソコンにメール。「○○飲んでます。」くるはずもない返事を期待して。

返事はこなかった。しかしその十分後、だれもが予期してなかったことが起きた。彼がやってきたのである。沈みかけた飲み会が一気に最高潮へとかけあがる。最高の瞬間だ。こんな盛り上がりは朝青龍コーンを発明した時以来だろう。その瞬間の事は今でもはつきり覚えている。だが、

その後自分がどうなったかまったく覚えていない。きつと和佐野さんのおかげで楽しすぎて飲みすぎて忘れてしまったのだろう。ほんとなつかしい思い出だ。

そうそう、こんな事もあった。バイトに向かう途中、俺は、一方通行を間違つて原付で逆走した時に運悪くおまわりさんにみつかつて注意され電話番号をひかえられた。それから市内局番の電話がいつもかかってくるようになって、それをおまわりさんだと思つてずっと無視していた。一週間してもまだしつこくかかってくるので、さすがにちゃんと警察にあやまろうと覚悟して電話とつたら、和佐野さんのちよつと怒りぎみの間の抜ける声でした。なんの用事だったか忘れたが、和佐野さんは家電から何度も何度も俺に電話していたのです。大爆笑しちゃいました。けどほんとは少し怖かったのでちよつぴりうれしくて泣けました。あの時はほんとにごめんなさい。

まあ、そんなこんなで長くなりましたが、まとめますと、やっぱり和佐野さん、携帯いりませんよ。浦上川に迷わず投げ捨てちゃいましょう。おすすめは夏田の家の前あたりですかね。足怪我しないように気をつけてくださいね！

雑感

四年 大場 修治

西医でメダル欲しかったな。決勝始まる前まではいけると思つてただけだな。やっぱり試合慣れしてないからな。うーん、残念。

雑感

四年 茅田 洋之

最近になってようやく艇の上でイライラしなくなってきた今日この頃、またちよつとうまく漕げるようになったよ。うな気がしたり、しなかつたりです。やっぱ、あんまり艇全体のことばかり考えだすとあんまりよくない時イライラするばかりで、実は自分がうまくいってないことに気がつかないって事になりがちで、バウなんかに乗っていたら特にやけど年々あんまし注意もされなくなって、それで、上の学年だと逆に若干下手になったりしがちじゃないのかなとふと気づきました。そして、イライラするより他にやることはいっぱいあるしねって気づくとイライラしなくなって、何かしらうまく漕げる様になってきました。いい意味でろてろです。

下の学年はもちろん、特にAクルーに乗るような人はうまくなりたかつたら、謙虚な姿勢を忘れず自分の漕ぎを見つめ続けてください。あと、ちゃんと楽しむこと、ボートはえらいキツイけど楽しいものなんで、労働になったりしないように（これも特にAクルーの人）。そうすればどんな人でもそれなりになかなかのもんにはなると思えますよ。

とは言うもののここの一、二年の間同じクルーで僕の前に乗っていた人達、ゴメンナサイ……。僕も昔色々あったんですよ……。今となつたらいい思い出ですけど。

最後に、人は褒められて伸びるものです、間違いありません。くれぐれも「ちっ」とか言うのはやめましょう。これはマジでヘコみます。（別にK藤さんの事じゃないですよ！いい思い出ですから……）

雑感

四年 西山 光郎

部誌の雑感を書くのは今年で二回目だ。いつもは書くことなく困るのだが今年にいたっては全く違う。初めての西医体の決勝を味わい、国体に出て、キャプテンもあと少しで終わりという経験をしてくればこういう機会に言いたいこと、伝えたいことはたくさんあるものだ。練習に対

する心構えなどは今まで数多くの先輩が伝えようとしてきたことであり、今までの部誌の中に載っている。それを読んでももらえれば自分が言いたいことは十分なので今回はAクルーに乗って初めて分かったボートのことを書こうと思う。

一、水を掴むこと

ボートで一番大切なのはこの感覚に尽きると思う。重たい水を掴み、いかにそれを長く押すか。この水を掴む、押している感覚を感じなければボートは全く面白くない。そして速くもならないだろう。

二、艇速を感じる

これもまた大事である。自分達の船は今進んでいるのか、それとも進んでいないのか。我々は自分達のフォームを気にしすぎているように思う。綺麗なフォームはあくまで船を速く進ませるのに大事な要因であり、それ自体が目的ではない。極論ではどれだけラッシュをしようがフィニッシュ抜けようが、どの船よりも速いならばなんの問題もないのである。（あくまで極論です。）艇速を感じ、艇速を出すためにどうすればいいのか、出ているときはどうなっているのか、考えながら漕ぐことが大事である。

三、考えること

上記とかぶることではあるがこれもまた大事です。漠然と漕ぐだけではなんの上達もない。漠然と意識するだけではなんの解決もない。自分に、自分達に与えられた課題を

消化するためにはどうすればいいのか具体的に考えるのが大事である。(例：バランスの取れない↓バランス意識しように↓なんとなく良くなったではいけない。フィニッシュの抜きがあつていないのか、フォワード中に重心がかぶれているのか、突っ込みか。など考え、具体的にどうすればバランスが取れるのかを分からなければいけない。) しっかりと水を押すにはどうすればいいのか、本当に自分はそれが出来ているのか。自分を客観的に見て常に考えて漕ぐことが大事である。自分では出来ていると勘違いしてはならない。

四、リズム

うまく漕いでいるときは不思議ときつくないものである。(疲労はきつちり練習後おそってくる。) それはしっかりと水中押せて、フォワード休むというリズムが出来ているからである。水中押せてれば水中が速い↓フォワード時間が取れる↓ゆつくり休める。逆に押せてないとフォワードがあわただしく休めない。またバランスとかも大抵悪くまますます疲れるものである。みながつっかり水中押すリズム、これもまた大事である。

すつごい大事なことはこのくらいではないだろうか。とにかく水を固定して押すことが大事であり、これが出来ていなければ先にはなにも進めない。とかく一、二年生のころは先輩達にキャッチがどうだの、フォワードがどうだの。

フィニッシュ抜けてるだの、突っ込んでるだの言われるが自分の漕ぎを見つめ、綺麗なフォームにするのは大事なことではあるがしっかりと水を押すことを忘れてはいけない。大事なことは船を速く進ませること。自分の漕ぎばかり気になつてこのことを考えないのは非常に危険である。

最後に思うのはもつとボートに関して貧欲になつて欲しい。瀬田漕艇クラブのHPやOZAWAROWINGのHPなどに技術的なことはたくさん書いてあり、その気になればボートのことはあつという間に詳しくなれるだろう。下の学年も疑問に思つたことや提案があればどんどん意見していい。上はそういうのに対して生意気に思うどころかすごく嬉しく思うものです。また東大のHP、一橋のHPなどを見るとおそらく我々と同じような境遇、能力で入つた部員が普通に二〇〇〇mを六分台で回している。部内など狭い世間ではなく広い視野で目標を持っていきたい。

最後に受験のときに聞いた好きな言葉がある。

「あることに対して無理だと思つる者はそのことをやりたくないだけである。」Aクルーのようなボート漬けの生活をあまりよく思わない部員もいるかもしれないが、一度やつてみて欲しい。確かにきついかもしれない、自分の時間も少なくなる、けれどそれを補つてあまりある充実感を得られることは間違いない。そう思うのです。

ゴミ問題

四年 原口 雅史

最近は、ゴミ問題という言葉がメディアを通して頻繁に聞かれる時代である。それは私たちとは無縁な者だと思っ
ていると、意外なところでその影響を受けるものである。
僕もこんな経験があつた・・・今回は長くなりそうだ。

二〇〇〇年五月某日、PM一〇：〇〇頃、次の日が朝練
ということもあり、とにかく疲れていたのでもう寝ようか
という時に、「バタバタバタ」ものすごい音で階段を上つ
てくる人がいる、と思つた瞬間、「ピンポン」インター
ホンが鳴る。多少の不安を感じながらも、「はい」と返
事をして、のぞき窓から外を見てみると・・・誰もいない。
ドアを開けて確認するが、やはり誰もいない。いたずらか
と思ひ、ドアを閉め、部屋に戻ろうとした瞬間、今度は階
段を下りてくる音がする。不思議にのぞき窓から外を確認
してみる。ハーフパンツと肌着のおつちゃん部屋の前で
仁王立ちしている。そして、彼はこう叫ぶ。

「ばか者!!返事をしといて出てこないなんてお前は一体
どういう教育を受けてるだ!隠れてないで出てこんか!!卑
怯者!!」

・・・なんだこれは???オヤジは突然階段を駆け下り、
道路に出てまた叫ぶ。

「お前の様な無法者の悪事は全て見抜いているんだ!観
念して出て来い!」

無法者：法や社会秩序を無視したり、常軌を逸したりし
ている様子の者。(国語辞典から抜粋)

まさにこのオヤジ然り。・・・もう二〇分は過ぎた
だろうか、まだ怒鳴り続けている。やれやれ。どうやら、
燃えるゴミを指定日以外の日に出し、さらに燃えないゴミ
が混ざつてみたいだ。ゴミの中には出した又シの情報で
もあつたのだろうか。じゃなきゃ、我がアムロハイツだけ
が集中砲火を浴びないだろうし。誰だか知らないがいい迷
惑だよ、速く自分のゴミを取りにいけよ、と思つてみると、
オヤジも我慢できなくなったのか、

「これだけ呼んでも出てこないのなら、もう名前を言う
ぞ!」

(おつ、出したやつの名前まで分かっているの。最初か
らそうすれば良かったんだよ)

「アメニティハイツ二〇七号室のT橋!!出てこい!」

WHAT???アパート全体の空気が変わる。・・・ア
メニティ???二〇七?さっきも書いたがうちはアムロハ
イツ、その名前はオヤジのいる所からはつきり見える。階
段を上げれば各階三号室までしかないのも分かる。二〇
七なんて部屋はない。もちろんアメニティハイツはまっ
たく違うアパート・・・ああ、なんてことだ。完全な勘違
い。しかも気づきそうにない。なんで自分だけこんな目に

遭わないといけないんだ、っていうか二階のT橋君って分かっていながらなんで三階にいる俺が怒鳴られているんだよ！……僕の思いをあざ笑うかのごとくオヤジの暴走はとどまる事を知らない。

「これでも出てこないなんてお前はなんてバカなんだ！警察を呼んだから、逮捕は時間の問題だぞ、自首しろ、T橋!!」

勘弁してくれ！だから俺はT橋じゃないんだって。それに警察って。だれがそんなウソを信じるか、バカはあんただよ！（泣）と呆れていると外から赤いランプの光が……みなさんに改めて聞きたいです……なんなんだ、これは？？これは現実？？

そのとき、ふと思う。二〇七のT橋って……まさかね、と思いつつポート部のT橋に電話を入れる。

「もしもし、原口だけど、さつきゴミとかでしたか？」

T橋「はい、出しましたよ、それが何か？」

（……てめー、明日から部費二倍にするぞ!!（怒））

ゴミを出したのはポート部のT橋K臣で、こいつがすべての元凶だったのだ。実名を書きたくてしようがない！がそれも可哀想だし半分だけにするか。みなさん、犯人は夕〇ハ〇カ〇オ〇です！やっぱりもう一回書いところ。犯人は夕〇カ〇シ〇ズ〇ミ！あれ？ま、いつか……。一方、オヤジは感情の矛先を警察官に向けたらしく、さつきから「お前ら、警察の汚職を暴いてやる！」と叫び続けている。はあ。

一時間後、ようやく荒れ狂った野犬も巢へ帰っていく。誰か狂犬病のワクチンを俺に打ってくれ、もうボロボロだよ。次の朝五〇〇、朝練の準備をして、アパートの階段を下りると、なんと、道路の向かいからオヤジが真っ直ぐに俺を犯人であるかのようにこつちを睨んでいる。まったく、最後までオチをつけてくれますよ。

みなさん、環境問題には気をつけましょう。ちなみに、あのおじさん近所でも有名なアル中疑惑のある人だと最近になって分かりました……来年もネタに恵まれますように。

雑感

四年 松浦 良樹

こないだオーボエ吹きなら一度は憧れる、チャイコフスキー作曲交響曲第四番第二楽章の冒頭のソロをスコアで見てみた。表現の指示が書いてある。

"*Semplice ma grazioso*"

ちつ、イタリア語だ。しぶしぶ音楽用語辞典を引いて見た。訳するとこんな感じだ。

「素朴に、しかし優雅に」

……はあ？

ゴメン、俺、国語弱いからわかんねえ。なんて言うか、「甘辛い」の仲間か何かですか？

雑感

三年 笠原 優人

今年からAクルーに乗っていますが、やっぱり練習の多さにびつくりでした。でも今ではそれに慣れてしまい、むしろ練習がなくなったら暇でしょうがないだろうなと思います。きつと有意義な日々です。これからはがんばっていきましょう。勉強も……。

雑感

三年 村田 慎一

最近ハマっていることがあります。LEGOブロックです。夜中についつい作ってしまいます。朝練前でもやつちゃいます。寝坊します。怒られます。しかし私はくじけません。今度は朝練のあと授業をサボって作ります。そうしているうちに夕練がはじまります。こうして一日が終わりませ、ああ、青春の日々。

雑感

三年 福島 真典

今年の収穫は、九山、九朝、西医体のレベルと、大会と大会の間隔が把握できたことだ。来年はすべての試合で結果が残せるように、常に大会のレベルを上回るよう調整して試合に挑もうと思う。

今年は要素所で結果は残せなかったけど、来年こそは良い結果を残していこう！

雑感

二年 江頭 崇

ボート部はとても明るくていい部活です。先輩も後輩も良い人ばかりで明るく楽しく部活に励めます。さいこー！

雑感

二年 小松 直広

いろいろとお世話になっている二年生Bクルーの小松です。九山ではオーブン戦で三位入賞とそこそこの結果

を出すことができたのですが、九朝では言葉に出すのも恥ずかしいくらいの惨敗でした。これも私の腰の故障でなかなか練習できなかったことが原因の一つだと思えます。今は腰痛のためBクルーを離れて休部中となっており正直西医体には選手として参加できないかもしれません。しかしいつでも気持ちはBクルーの一員ですから私の代わりにBクルーに乗ってくれた日野にはぜひ頑張ってもらいたいものです。

雑感

二年 高橋 一臣

ボート部に入ってもうすぐ一年半。正直いまだになんてこの部活に入ったのかと思う時があります。

きついし、朝早いし、練習多いし、弱音をはきたくなる事も多々あります。それでもなんとか続けていられる理由の一つ、この部活が楽しいと思えるからです。

なんととっても、部員がびっくりするような個性派ぞろい。圧倒的なツートップとそこに絶妙なバランスとフォーローを加えてくれる五年生。バラエティー豊かな人材をほこる、部の中心的存在の四年生。おとなしめとみせかけて実は奥が深い、よき兄貴分の三年生。僕達二年生はどんな感じなのでしょうか……？なんだかんだいいながらも、

入部当初からかわらず六人そろってボート部に残っている事は本当に嬉しく思います。それから一年生。まだまだ未知数。九朝レセプションや飲み会での勇士を見ていると、将来が実に楽しみなはじけ具合です！

ボートを漕ぐなんて今しかできない事。大変な時もあるだろうけど、この部で楽しい時間を過ごしたいと思えます。

雑感

二年 長 哲太郎

勉強しなきゃと思いつながら、いよいよ六月になってしまった。二解剖の試験対策は進んでいない。とにかく資料を集めよう。とはいえ、最近はBクルーの練習が出来ないことが多い。それは解剖中の身にしてみればいいことかもしれないが、やはりコックスとはいえ、練習をしなくては不安に感じることもある。解剖中にしてもボートに対するモチベーションを失わずに、常に子々川にでるぞー！という気持ちで梅雨を乗り切りたいと思う。

雑感

二年 日野 直之

去年、交通事故にあった。二〇〇三年一二月のことである。自転車に乗って全学の方へ向かっていた僕は、松山町の横断歩道を渡っている途中に何か殺気を感じた。何だろうと思つて左へ振り向いたら、何か確認する間もなく、ドカーンと音をたてて反対側へなぎ払われた（！）体が動かず目の上から血が垂れてきた時はパニックで死を予感したが、当たり所がよかつたみたいで運良く軽傷で済み、入院せずに、二、三日たったら学校に行けるようになった。何の車に撥ねられたか最初は分からなかつたが、後にトラックだと判明。

数日後、顔に数ヶ所ガーゼをはり、松葉杖を使つて学校に行つた。何となくみんな僕のことを心配してくれるものだと思つていたが、そんなことはなかつた。教室に入つたら、最初に顔があつた友達に「日野、お前ボコられたようにしか見えんちゃけど」と言われ、車に撥ねられたと伝えたら他の近くにいた友達に「じゃ何で生きてんの？」とか言われた。

そしてボート部。さらに数日たつて、飲み会のように顔を出した。案の定あまり心配してもらえず、それどころか「日野トラック」と言つてお酒を飲まされるようになった。

ひどい男たちだ。まさか笑いのネタにされるとは思わなんだ。でも僕はそんなボート部が大好きだ！

雑感

二年 山本 悠造

雑感といつても、最近特に何も考えずに生きてるので書くのが難しいが、とりあえず解剖がしんどい。死体と向き合う日々が続くせいか自分まで生気を失っている気がする。夏にはまた福岡でエネルギーを充電しなければ。休部したせいで体力ががた落ちだ。夏休みには肉体改造でもしようかと思う。

雑感

一年 梅田 雅孝

雑感に何を書こうか迷っていたところ、この日ちようどいい出来事があったので書いてみることにします。それはよく晴れた暑い土曜日の練習後の出来事でした。最近毎日乗艇していることにより着実に成果があらわれているように見え、精一杯漕いだ後のけだるさがなんだかきもちいいような感じがして、ああ、ボート部はいつて

よかったなあと一人青空の下でしみじみしている時から
じわじわとその悲劇は始まっていったのです。最初は「ヤバ
イ！ヤバイ！」ともがいていたのですが、ライオンの前に
立ちすくむコジカのようにわたしは己の運命を受け入れる
ことにしました。ゆつくりそして次第に速度を上げながら
目の前の世界が傾いていくんです。このあとみなさんに迷
惑をかけることになる申し訳なさと、(とうとう俺もやつ
たぜえ！これでマーマン先輩と一緒にだあ。)というほんと
にほんとにかすかな喜びを心の隅っこに感じつつ「ああ、
ああ、ああー」という鳴き声とともに母なるシシガ
ワの胎内に飲まれていったのです。さんざん話をひっぱっ
てしまつてそろそろイライラしてきた方も多いとは思いま
すがもうお分かりでしょう。ボート界のアクシデントなか
で最もポピュラーかつ最もファックなもの。いわずと知れ
た「沈」を私が初めて味わったときの話です。私がスカル
を漕いでいたのを見ていたCクルーのみなさんは大慌てで
カヤックを出しこつちに向かつてきてくれて、さらには近
くにいた蓋世まで来てくれたのですが、どうやら助けてく
れるというわけではないようでした。「沈」したら必ずセッ
トになつてついてくるもの。それは自力でもともどらな
ければならないということでした。まず艇をひっくりかえ
し、オールをまとめるとこまでは耳と口にたつぷり海水を
入れつつもなんとかできたのですが、そこから艇の上にも
どることまではできませんでした。と、いうことで、コー

タローさんと原口さんにカヤックでスカルごと岸に運んで
もらったつてわけです。ほんとご迷惑おかけしました。ま、
このままだとオチがない話になつてしまふんですが、実は
この話には続きが……。詳しくはうちのクルーにでも聞い
てください。ただ原口さんに聞くのはあまりおすすめでき
ませんけど。

雑感

一年 古賀 俊充

どんな内容でもいいとのことなので、適当に最近思う
ことを書きたいと思います。僕は初めこれほど部活を中心
にした大学生活を送ることになるとは思つてもみませんで
したが、気づいたら最近部活の予定によって他の予定を
立てたりしています。しかも、ここ一週間くらいはあるC
OXの掲示板のせいで毎日乗艇することになってしまいま
した。・・・僕は最初ほんとにこれでいいのかなかなか悩み
ました。ほかの一年が言うほどボートが楽しいとは思えな
かったからです。確かに西医体で勝ちたいとは思うものの、
ボートに乗ること自体には何の魅力も感じませんでした。
しかし、今日県漕以来ひさしぶりにパドルの練習をしたと
き、今までにないスピード感があり不覚にも楽しいと感じ
てしまいました。この感覚がいつまで続くか分からないし、

これがボートの楽しさなのかも分かりませんが、初めて乗艇して気持ちいいと感じたことは確かです。この先ちゃんとして続けられるかも分かりませんが、とにかく今は少しでも上手く漕げるように、そして西医体で入賞できるように頑張りたいと思います。

雑感

一年 友延 寛

九朝、県漕を経て、ボートをこぎ始めて二ヶ月が経ちました。ボートはとにかくいろいろなことが難しいです。でもボートの上では必死で、はつきりいつてきついですが、楽しいこともあります。西医体に向けてがんばります。ボート部、サイコーです。

北斗の拳

一年 濱口 陽

今日は水曜日、学校が二・三〇に終わる。さー帰ろう！あー待てよ！日野さんの過去問を部屋に持って行って帰ろう。体育館に行く。山道さんがミニ四駆で遊んでいる。

「ちわーすーなにやってるんすか？」

「見てのとおりミニ四駆で遊んでるんだよ！」

なるほどもつともだ。部屋に過去問を置いて帰る。山道さんの影はもうない。バイクの乗って原爆資料館の前を通る。浪人している友達はいるか？中を覗いてみる。やっぱりいた！しかもやっぱり勉強してない！連れ出してしゃべる。

「プランタンで今日おれが打ちよつた台、設定五らしいよ。」

打つたんかい！やれやれ。しかし、聞き捨てならん！その台教えろ！その台を教えてもらう。

「あんたも好きねー。」

と言われる。お前に言われる筋合いはない。殺すぞ！とりあえず金を取りに家に帰る。昨日もらったバイト代をにぎりしめ。プランタンに急ぐ。その台があいている。しかたない、打つてやろうとほととぎす！とりあえず一〇〇〇円いれる。いきなり二チエを引いた！来たかもしれん。期待が膨らむ。案の定入っていた！アミバが出てきたので、とりあえずボコボコにする。ボーナズ確定。やった！しかも七連した。まずまずの滑り出し！とりあえず打つていたら三五〇くらいまではまってしまった！やばい！あせる濱口。そしたらスイカ、チェリーをたてつづけに引き、シンをボコボコにする。きた！今日のおれは一味違うぜベイビー！そのごもサウザー、ジャギ、ラオウをボコボコにしつつ、一進一退を繰り返し気づいたら五：〇〇。そろそろ

帰ろう。換金したら、三万ぐらい。まずまずだ。ひさびさに楽しかった。また行こう。

最近、エブリデイ乗艇！起きるのはチョットきつけれど、乗艇すると楽しい。上達もしているはずだ！

こうたろうさん、ぐっさん、古賀、うめ、おれ、この五人で漕ぐのもあと少し。ちよつとセンチな気分になりつつ、まーしゃーないと考える。残された時間をせいじっばいに過ごそう。西医がんばるぞ！

早くテスト終わんねーかな。

雑感

一年 松岡 若利

こんにちわ!! 新一年の松岡若利です。まずは簡単に自己紹介をしようと思います。

福岡県出身、中高ラサー、十九歳、一月七日生まれ、A型。中高テニスをやっていたんですが、先輩の勧誘でボート部に入っちゃいました！

ボート部での目標は、まずは筋肉をつけることです。せめて普通の人並みにはなりたいです！ボートは難しいので、少しずつうまくなりたいです。

ボートを漕いで、すきなのはAクルーの人たちが漕いでるのを見ることです。特に、みんなの動きがそろって

るために漕いでるときになる、ガコガコいう音がいいです。さて部活以外はと言いますと、バイトは思案橋の牛角でやっています。大変です。まあ、一年の間は続けようと思います。でも楽しいって言えば楽しいです。

あと免許は夏休み中には取れるはず。もうすぐ仮免！むずいっすよねー。クラッチの使い方がいまだにわかりません。

雑感と言われても、何を書けばいいかわからず、明日までに提出しないと、何らかの制裁が加えられるということなので、このへんで終わりたいと思います。

以上です。

平成 15 年度長崎大学漕艇部 O B 会収支報告

| 収 入 | | 備 考 |
|---------|-----------|------|
| 前期繰越 | 623,503 | |
| 会 費 | 1,800,000 | 45 名 |
| 寄 付 | 20,000 | 2 名 |
| 部誌広告・協賛 | 360,000 | 30 社 |
| 預金利息 | 4 | |
| 合 計 | 2,803,507 | |

| 支 出 | | 備 考 |
|------------|-----------|----------|
| 西医体遠征費 | 1,175,760 | 遠征費、運送代 |
| 九朝レガッタ遠征費 | 144,500 | 九朝エントリー費 |
| 九山エントリー費 | 118,000 | 九山エントリー費 |
| 四校対抗戦 | 193,664 | |
| 熊本エルゴ | 33,000 | |
| 部誌経費 | 276,000 | |
| 新入生歓迎費・追コン | 200,000 | |
| 漕艇保険 | 242,970 | |
| ボート協会登録料 | 40,000 | |
| 艇修理代 | 21,927 | 部品代 |
| 総会経費 | 27,090 | |
| 通信費 | 17,565 | 切手、送金料等 |
| 雑費 | | 封筒、領収書代 |
| 会費手数料 | 4,280 | |
| 次期繰越 | 308,751 | |
| 合 計 | 2,803,507 | |

長崎大学医学部漕艇部OB会会則

第一条 本会は長崎大学医学部漕艇部OB会と称する。

第二条 本会の事務所は、長崎大学医学部漕艇部に置く。

第三条 本会の目的は、漕艇部の円滑な運営の為に、精神的、物理的な援助を行い、あわせて部員の身体の練成ならびに陶冶を図り、会員相互の親睦をはかるものである。

第四条 本会は、漕艇部のOBからなる一般会員ならびに本会の主旨に賛同する賛助会員をもって組織する。

第五条 本会に下記の役員を置く。

(1) 会長 一名

(2) 副会長 二名

(3) 顧問 若干名

(4) 総務 若干名

(5) 会計監査 一名

第六条 会長、副会長、総務、会計監査はOB会にて互選し、顧問は、会長が委嘱する。

第七条 役員の任期は、一年とする。ただし、再選は妨げない。

第八条 漕艇部顧問教官は、OB会に出席し、部の事情を説明しなければならない。

第九条 総会は、年に一度これを開くものとする。

第十条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもつて当てる。

第十一条 本会の経費は、一般会員より徴収し、会費は年度ごとに総会において決定する。

第十二条 本会の会計年度は、毎年四月一日より始まり翌年三月三十一日に終わる。

第十三条 本会の予算、決算は、総会の承認を得なければならぬ。

第十四条 本会には下記の帳簿を備える。

(1) 会則

(2) 会員名簿

(3) 会計簿

第十五条 会則の変更は、総会の承認を得なければならぬ。

付 則

この会則は、昭和五十四年度四月一日から施行する。

(昭和五十五年三月二十二日改正)

長崎大学医学部漕艇部OB会会員名簿

| 氏名 | 勤務先 | 勤務先住所 | 勤務先電話番号 | E-mail address .1 | 医局 |
|-------|----------|----------------------------|--------------|---------------------------------------|------|
| | 自宅 | 自宅住所 | 自宅電話番号 | E-mail address .2 | 卒業年度 |
| 長西 靖 | 731-5127 | 長西耳鼻咽喉科医院：広島市佐伯区駅前町1-11-37 | 082-923-8122 | | |
| | 731-5127 | 広島市佐伯区駅前町1-4-5-911 | 082-923-5839 | | S46 |
| 冬野 誠三 | 847-0844 | なばたけ冬野クリニック：唐津市葉畑3860-1 | 0955-75-2220 | Nabatake@star.saganet.ne.jp | |
| | 847-0845 | 唐津市葉畑4208-57 | 0955-74-7378 | fuyuno@matsuronet.co.jp | S48 |
| 枡本恵一良 | 847-0846 | 枡本内科クリニック：堺市鳳西町1丁目92-2 | 072-264-0588 | | |
| | 847-0847 | 大阪府高石市東羽衣4-5-4 | 072-264-8828 | kema@violet.plala.or.jp | S49 |
| 峰 雅宣 | 847-0848 | 健康早総合病院：諫早市永昌東町24-1 | 0957-22-1380 | | 第1内科 |
| | 847-0849 | 長崎市柳谷町4-13 | 095-847-6031 | | S49 |
| 朝戸 末男 | 847-0850 | 朝戸医院：鹿児島県大島郡和泊町和泊14 | 0997-92-1131 | | |
| | 847-0851 | 鹿児島県大島郡和泊町石川平14 | 0997-92-2280 | sasato@nisiq.net | S50 |
| 内田 隆寿 | 847-0852 | 青州会病院：長崎県北松浦郡田平町山内免612-4 | 0950-57-2155 | | 第2外科 |
| | 847-0853 | 長崎県佐世保市瀬戸口11-30 | | | S50 |
| 桜井 一枝 | 720-0822 | みつふじ小児科：福山市川口町2-22-11 | 084-953-0307 | kazue.s.@fukuyama.hiroshima.med.or.jp | 小児科 |
| | 721-0952 | 広島県福山市曙町5丁目24-38 | 0849-54-4454 | | S50 |
| 瀬戸 信二 | 847-0856 | 長崎大学大学院総合研究科循環病体制御培化学 | 095-849-7288 | | 第3内科 |
| | 847-0857 | 長崎市岩屋町17-2 | 095-857-1808 | | S50 |
| 早田 篤 | 847-0858 | 長崎市北保健センター：長崎市川口町6-10 | 095-845-5151 | | 小児科 |
| | 847-0859 | 長崎市立岩町77-10 | 095-862-5622 | | S50 |
| 田川 泰 | 847-0860 | 長崎大学医学部保健学科：長崎市坂本1-7-1 | 095-849-7900 | | 第1外科 |

| | | | | | |
|-------|----------|-----------------------------------|--------------|----------------------------|-------------|
| 富海 五郎 | 847-0862 | 松山記念病院：松山市美沢1-10-38 | 089-925-3211 | | 愛媛大精神科 |
| | 847-0863 | 松山市東野1丁目6-15 | 089-977-1812 | | S50 |
| 中野 文耕 | 853-2301 | 若松国民健康保険診療所：長崎県南松浦郡若松町若松郷281 | 0959-46-3315 | | 第2外科 |
| | 853-2301 | 長崎県南松浦郡新上五島町若松郷281 | 0959-46-3318 | | S50 |
| 丹羽 正美 | 847-0866 | 長崎大学医学部第1薬理学教室：長崎市坂本1-12-4 | 095-849-7041 | | 第1薬理 |
| | 847-0867 | 長崎県西彼杵郡長与町高田郷1613-4 | 095-883-6395 | niwa@net.nagasaki-u.ac.jp | S50 |
| 馬渡 一雄 | 847-0868 | まわたり内科医院：長崎市西山2丁目9-2 | 095-822-0101 | | 第3内科 |
| | 847-0869 | 長崎市西山2丁目9-2 | 095-822-0101 | | S50 |
| 石川 治 | 847-0870 | 石川医院：姫路市古二階町135 | 0792-23-3270 | | 岡山大外科 |
| | 847-0871 | 姫路市古二階町12 | 0792-23-1307 | | S52 |
| 川口 昭男 | 847-0872 | 井上病院：長崎市宝町8-9 | 095-844-1281 | | 第1外科 |
| | 847-0873 | 長崎市柳谷町14-27 | 095-847-5529 | | S52 |
| 神田 源太 | 847-0874 | 三和中央病院西彼杵郡三和町布巻165-1 | 095-898-7511 | | 皮膚科 |
| | 847-0875 | 長崎市片淵1丁目12-7 | 095-822-7051 | | S52 |
| 田中 精一 | 847-0876 | 八王子消化器病院：八王子市万町177-3 | 0426-26-5111 | | 女子医大消化器センター |
| | 847-0877 | 八王子市上巻分方町246-1 | 0426-51-7640 | s-tanakaka@x2.so-net.ne.jp | S52 |
| 堤 健二 | 847-0878 | 聖マリア病院久留米市津福本町422 | 0943-23-3005 | | 脳外科 |
| | 847-0879 | 久留米市国分町1121-9アバンティエジ国分B-1 | 0942-22-3272 | k-tutumi@mx2.tiki.ne.jp | S52 |
| 吉良 満夫 | 847-0880 | 浜崎外科病院：長崎市曙町3-6 | 095-861-6034 | | 第2外科 |
| | 847-0881 | 長崎市曙町3-6 | 095-861-7431 | | S54 |
| 出口 正巳 | 530-0001 | 大阪市北区梅田2-4-37 西梅田上島ビル5階 カリスマクリニック | 06-4797-4000 | | 形成外科 |
| | 530-0012 | 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町17-46 | 0797-38-8077 | masami@deguchi.neme | S54 |

| | | | | | |
|-------|----------|-------------------------------------|--------------|------------------------------------|---------|
| 井上健一郎 | 847-0884 | 井上病院：長崎市宝町 6-12 | 095-844-1281 | | 第2内科 |
| | 847-0885 | 長崎市坂本 1-2-5 | 095-846-2218 | ken-i@inoue-hp.com | S55 |
| 江口 圭介 | 847-0886 | 千住診療所佐世保市栄町 5-26 | 0956-23-1010 | dreguchi@hyper.ocn.ne.jp | 第3内科 |
| | 847-0887 | 佐世保市松山町 5-38 | 0956-22-2224 | | S55 |
| 成松 元治 | 847-0888 | 国立長崎中央病院：大村市久原 2-1001-1 | 0957-52-3121 | narimatu@ngsl.cncm.ne.jp | 心臓血管外科 |
| | 847-0889 | 長崎市エミネット葉山町 15-7 | 095-857-6855 | narimatsu@mmc.hosp.co.jp | S55 |
| 水谷 明正 | 847-0890 | 長崎記念病院：長崎市深堀町 1-11-54 | 095-871-1515 | | 第2外科 |
| | 847-0891 | 長崎市ダイヤランド 1-36-19 | 095-878-3807 | akimac@nomo.so-net.ne.jp | S55 |
| 小倉 猛 | 866-8533 | 熊本労災病院：熊本県八代市竹原町 1670 | 0965-33-4151 | | 形成外科 |
| | | 熊本市画図町重富 744-13 | 096-379-7592 | togura@lime.plala.or.jp | S56 |
| 谷川 宗生 | 847-0894 | 長崎北病院：長崎市滑石 5-4-61 | 095-857-0001 | | 第3内科 |
| | 847-0895 | 西彼杵郡長与町高田郷 1196-122 | 095-883-4030 | | S56 |
| 難波 裕幸 | 847-0896 | 長崎大学医学部原研細胞：長崎市坂本 1-12-4 | 095-849-7115 | namba@net.nagasaki-u.ac.jp | 原研細胞 |
| | 847-0897 | 長崎県西彼杵郡長与町高田郷 858-103 | 095-883-7541 | | S56 |
| 前原 洋二 | 847-0898 | 森整形外科：福岡県山門郡瀬高町大字下庄 590 | 0944-63-2040 | | |
| | 847-0899 | 福岡県久留米市津福本町 786-6 グラソピアマツシヨソ津福 1001 | 0942-37-5038 | stady@polka.plala.or.jp | S56 |
| 村山 晋 | 514-0043 | 遠山病院：三重県津市南新町 17-22 | 059-227-6171 | md-murayama@toyama-hp.or.jp | 三重大第1内科 |
| | 514-0043 | 津市桜橋 3-446-50 アトシ桜橋 608 | 059-222-5687 | stellia.murayama.0425@za.ztv.ne.jp | S56 |
| 山近 史郎 | 847-0902 | 長大附属病院心臓血管外科：長崎市坂本 1-7-1 | 095-849-7307 | shiyama@net.nagasaki-u.ac.jp | 心臓血管外科 |
| | 847-0903 | 長崎市彦見町 18-4 | 095-825-3580 | shiyama@aurora.dti.ne.jp | S57 |
| 岡田 代吉 | 847-0904 | おかだ外科胃腸クリニック：北九州市八幡西区三ヶ森 4-9-24-605 | 093-613-7188 | | |

| | | | | | |
|-------|----------|-------------------------------|--------------|-------------------------------|--------------------|
| 倉富 彰秀 | 847-0906 | 医療法人 輝秀会：佐賀県神埼郡神埼町田道ヶ里 2435-1 | 0952-52-8841 | posa@po.saganet.ne.jp | |
| | 847-0907 | 佐賀県神埼郡神埼町田道ヶ里 2435-1 | | posa-japan@nsf.biglobe.ne.jp | S58 |
| 末永 俊郎 | 847-0908 | 末永産婦人科麻酔科医院：北九州市門司区門司 6-15 | 093-321-2453 | | |
| | | 北九州市門司区港町 6-15 | 093-322-1751 | suetoshi@k.kijyu.or.jp | S58 |
| 中崎 隆行 | 852-8104 | 長崎原爆病院：長崎市茂里町 3-15 | 095-847-1511 | | 第1外科 |
| | 852-8102 | 長崎市坂本 2-18-15 | 095-842-2391 | nakazaki@topaz.ocn.ne.jp | S58 |
| 永見 耕一 | 758-0025 | 永見眼科医院：山口県萩市土原 351 | 0838-22-0720 | | |
| | | | | eimi33@ime.ocn.ne.jp | S58 |
| 永山 雄二 | 852-8523 | 長崎大学医学部原研分子教室：長崎市坂本 1丁目 12-4 | 095-849-7173 | | 第1薬理 |
| | 851-2126 | 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷 579-40 | 095-887-2796 | nagayama@net.nagasaki-u.ac.jp | S58 |
| 松永 伸彦 | 854-0072 | まつなが眼科：諫早市永昌町 43-1 | 0957-25-8866 | | |
| | 854-0074 | 諫早市山川町 12-14 | 0957-27-1333 | matsuo@mocha.ocn.ne.jp | S58 |
| 今里 雅之 | | ～逝去～ | | | 女子医大消化器センター S59 |
| 小林 誠博 | 803-0831 | 北九州市小倉北区日明（ひあがり）4丁目 6-28 | 093-561-6353 | | 第1外科 |
| | 805-0016 | 北九州市八幡東区高見 2丁目 10番 1-601 | 093-651-8786 | | S59 |
| 平野 友久 | 850-0953 | 上戸町病院：長崎市上戸町 129 | 095-879-0705 | | |
| | 850-0963 | 長崎市ダイヤランド 3-28-6 | 095-878-8913 | tomuyuu@cesn2.cnm.ne.jp | S59 |
| 糸柳 則昭 | 852-8102 | 長大附属病院第1外科：長崎市坂本 1丁目 7-1 | 095-849-7304 | | 第1外科 |
| | 851-2130 | 西彼杵郡長与町まなび野 2-18-2 | 095-887-4927 | itoyanagi@nifty.com | S60 |
| 日高 真 | 300-8585 | 国立霞ヶ浦病院：茨城県土浦市下高津 2-7-14 | 029-822-5050 | hidaka@kasumi.hosp.go.jp | 筑波大精神科 |
| | 300-1245 | 茨城県つくば市高崎 692-5 | 029-873-3382 | ccx00020@hkg.odn.ne.jp | S60 |

| | | | | |
|-------|---|---------------|----------------------------------|-----------|
| 松岡 直樹 | 850-0832 後藤会病院：長崎市油屋町 1-21 | 095-822-3151 | | 第1内科 |
| | 850-0037 長崎市金屋町 9-9-1301 | 095-829-4077 | nmatuoka-nag@nagasaki.met.or.jp | S60 |
| 矢次 登 | 800-0344 小波瀬病院：福岡県京都郡苅田町大字新津字池ノ下 1598 | 09-302-4-5211 | | 整形外科 |
| | 803-0827 北九州市小倉北区緑ヶ丘 3-4-18-2015 | 093-591-7670 | | S60 |
| 高須 勝也 | 851-2126 常葉会 長与病院：長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷 647 | 095-823-6668 | | 第2外科 |
| | 859-0401 長崎県西彼杵郡多良見町化屋名 20-133 | 0957-43-2654 | | S61 |
| 中里 貴浩 | 816-0864 福岡徳州会病院消化器内科：福岡県春日市須玖北 4-5 | 092-573-6622 | | 内科 |
| | 811-2103 福岡県糟屋郡宇美町四王寺坂 3丁目 19-5 | 092-934-3648 | | S61 |
| 中山 大介 | 852-8102 長大附属病院産婦人科：長崎市坂本 1丁目 7-1 | 095-849-7363 | | 産婦人科 |
| | 850-0048 長崎市上銭座町 12-2 | 095-848-4575 | nakayama@net2.nagasaki-u.ac.jp | S61 |
| 青木 幹弘 | 857-0056 佐世保市立総合病院：佐世保市平瀬町 9-3 | 0956-24-1515 | | 小児科 |
| | 857-0018 佐世保市横尾町 138 | 0956-22-7340 | | S62 |
| 石井 久敬 | 831-0004 福岡県大川市榎津 137-1 国際医療福祉大学リハビリテーション学部 | 0944-89-2000 | | 福岡大学精神神経科 |
| | 814-0001 福岡市早良区百道浜 4-17-9 | 092-821-7340 | | S63 |
| 岡野 邦彦 | 852-8102 長大附属病院整形外科：長崎市坂本 1丁目 7-1 | 095-849-7321 | kuni@net.nagasaki-u.ac.jp | 整形外科 |
| | 852-8117 長崎市平野町 14-13 セントヒルズ平野 102号 | 095-849-7321 | | S63 |
| 朝長 道生 | 843-0301 朝長医院：佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿乙 2188 | 0954-43-2117 | | 第2内科 |
| | 843-0301 佐賀県藤津郡嬉野町大字下宿乙 2191 | 0954-43-2132 | mco.tmg@hotmail.com | S63 |
| 中島 寅彦 | 812-8582 九州大学医学部耳鼻咽喉科：福岡市東区馬出 3-1-1 | 092-642-5668 | nakatora@gent.med.kyushu-u.ac.jp | 九大耳鼻科 |
| | 814-0113 福岡市城南区田島 6-2-24 | 092-871-5238 | mietora@ibm.net | S63 |
| 天野 秀明 | 852-8055 虹ヶ丘病院 呼吸器科：長崎県長崎市虹ヶ丘町 1-1 | 095-856-1112 | froatingnymph@bb.ne.jp | 呼吸器科 |

| | | | | | |
|-------|----------|---|--------------|---------------------------------|----------|
| 金色 正広 | 805-0061 | 北九州市立八幡病院麻酔科：北九州市八幡東区西本町 4-18-1 | 093-662-6565 | | 麻酔科 |
| | 805-0061 | 北九州市八幡東区西本町 4 丁目 15-23-705 | 093-663-3055 | kanairo@mars.dti.ne.jp | H1 |
| 吉川 公正 | 804-0012 | 健和会中原病院：北九州市戸畑区中原東 3 丁目 10-17 | 093-881-8181 | | 脳外科 |
| | 808-0016 | 北九州市若松区原町 9-6 | 093-751-6528 | cbq47591@pop06.odn.ne.jp | H1 |
| 旭 隆宏 | 874-0011 | 国立別府病院：大分県別府市大字内かまど 1473 | 0977-67-1111 | | 九大小児科 |
| | 874-0011 | 大分県別府市大字内かまど 1473 国立別府病院官舎 R-6-5 | 0977-27-9555 | asahit@beppu.hosp.co.jp | H2 |
| 白藤 智之 | | 留学中 | | | 第 1 外科 |
| | | | | | H2 |
| 寺尾 保信 | 113-8677 | 東京都立駒込病院：文京区本駒込 3-18-22 | 03-3823-2101 | | 慈恵大形成外科 |
| | 108-0074 | 東京都港区高輪 3-16-8-206 | 03-3443-5034 | y.terrao@clock.jp | H2 |
| 中村 晋 | 813-0042 | 中村内科医院：福岡市東区舞松原 1 丁目 6-18 | 092-681-7363 | ryo-n@n.ijju.or.jp | 九大第 2 内科 |
| | 813-0031 | 福岡市東区八田 2 丁目 1-52 ヲエルテヂ香椎南 413 | 092-662-4414 | | H2 |
| 山本 太郎 | 100-8919 | 千代田区霞ヶ関 2-2-1 外務省経済協力局 | 03-5501-8363 | taro-y@pbh.med.kyoto-u.ac.jp | 熱研社会環境 |
| | 168-0072 | 杉並区高井戸東 3-3-14-407 | 03-5370-0939 | TaroY0103@aol.com | H2 |
| 生田 安司 | 852-8102 | 長大附属病院第 1 外科：長崎市坂本 1 丁目 7-1 | 095-849-7304 | yikutata@net.nagasaki-u.ac.jp | 第 1 外科 |
| | 854_0011 | 諫早市八天町 1-11-301 | 095-861-9733 | yikutata@clin.medic.mie-u.ac.jp | H3 |
| 市川 辰樹 | 852-8501 | 長崎大学付属病院 第一内科：坂本 1-7-1 | 095-847-1511 | ichikawa@net.nagasaki-u.ac.jp | 第 1 内科 |
| | 852-8511 | 長崎県長崎市茂里町 3 番 15 号 | 095-843-1470 | | H3 |
| 鈴木 康弘 | | National Institute of Health Bldg. 10, Rm5A11, 9000 Rockville Pike, Bethesda, MD 20892, U.S.A. | 301-496-9238 | totoro_64@yahoo.com | 熊大第 2 内科 |
| | | | | | H3 |
| 田中 邦彦 | 852-8523 | 長崎大学医学部第一薬理：長崎市坂本 1 丁目 12-4 | 095-849-7043 | kunny-ta@net.nagasaki-u.ac.jp | 第一薬理 |
| | 852-8117 | 長崎市平野町 9-28 コソフナー平野町 306 号 | 095-845-8355 | kunny@xd6.so-net.ne.jp | H3 |

| | | | | | |
|-------|----------|--|----------------|--------------------------------|---------|
| 山本 修 | 850-0004 | 山本外科医院：長崎県長崎市下西山町1-5-1F | 095-823-8585 | | 第2外科 |
| | 850-0015 | 長崎市矢ノ平二丁目2-23 | 095-824-4600 | | H 3 |
| 劉 中誠 | 825-0065 | 田川市立病院：福岡県田川市中央町1-1 | 0947-44-2100 | | 第1外科 |
| | 825-0004 | 福岡県田川市桐ヶ丘6-2組医師住宅2号 | 0947-45-4956 | cryu@ruby.ocn.ne.jp | H 3 |
| 黒木 保 | | 長崎大学付属病院第2外科 | | tkuruki-gi@umin.ac.jp | 第2外科 |
| | | | | koromoto@tt5.so-net.ac.jp | H 4 |
| 佐藤 俊一 | 380-0922 | 長野赤十字病院：長野市若里5丁目22-1 | 026-226-4131 | ssato@nagano-net.jrc.or.jp | 信州大第3内科 |
| | 380-0803 | 長野市三輪4-2-22-102 | | shunichi@eb.mbn.or.jp | H 4 |
| 趙 成三 | 852-8102 | 長大附属病院麻酔科：長崎市坂本1丁目7-1 | 095-849-7370 | chos@net.nagasaki-u.ac.jp | 麻酔科 |
| | 852-8061 | 長崎市滑石5丁目4-80-404 | 095-856-3793 | | H 4 |
| 津田 純 | 154-0014 | 津田耳鼻咽喉科：世田谷区新町3-20-1 | 03-5450-7237 | | |
| | 154-0014 | 世田谷区新町3-25-12 | 03-3439-7759 | yumikaya@mx9.ttcn.ne.jp | H 4 |
| 中野 基 | | ハーバード大学医学部ボストン小児病院 | 1-617-355-5009 | | 形成外科 |
| | | 33 Pond Avenue, #201 Brookline, MA. 02445-7136, U.S.A. | 1-617-264-7999 | mnakano@rascal.med.harvard.edu | H 4 |
| 福井 雅士 | 850-0045 | 井上病院：長崎市宝町6-12 | 095-844-1281 | | 形成外科 |
| | 870-0022 | 長崎市春木町302-43 | 095-861-3693 | fukuiimasashi@clubaa.com | H 4 |
| 南 恵樹 | | アメリカ留学中 | 095-824-5123 | | 第2外科 |
| 竹下 浩明 | 852-8501 | 長大医学部附属病院第1外科：長崎市坂本町7-1 | 095-849-7304 | | H 4 |
| | 852-8102 | 長崎市坂本1丁目13-53 アサヒツインハイツ503 | 095-843-4444 | hiro-t@fsinet.or.jp | 第1外科 |
| 近藤 新二 | 852-8523 | 坂本1丁目12-4：長崎大学先端生命科学支援センター | 095-849-7191 | kondos@net.nagasaki-u.ac.jp | H 5 |
| | 850-0001 | 長崎市西山4丁目511-301 | 095-844-7177 | | 形成外科 |

| | | | | | |
|--------|----------|---|--------------|--------------------------------------|-----------|
| 斎藤 将隆 | 805-0012 | 北九州市立八幡病院：福岡県北九州市八幡東区西本町4丁目18-1 | 093-662-6565 | saito@yahata.ht.jp | 麻酔科 |
| | 805-0016 | 福岡県北九州市八幡東区高見町1-2-25 | 093-653-2246 | | H 6 |
| 阪上 学 | 565-0871 | 大阪大学医学部付属病院 麻酔科：大阪府吹田市山田丘2-2 | 06-6879-3133 | sakaue@anes.med.osaka-u.ac.jp | 大阪大麻酔科 |
| | 662-0976 | 兵庫県西宮市宮西町14-13 ヲラミー丸風川508 | 0798-37-1475 | sakaue@ff.ijku.or.jp | H 6 |
| 松尾 敏明 | 894-2322 | 加計呂麻徳洲会診療所：鹿児島県大島郡瀬戸内町瀬相747-1 | 0997-75-0116 | | 神戸大国際予防医学 |
| | 894-2322 | 鹿児島県大島郡瀬戸内町瀬相747-1 | 0997-75-0373 | maritongtong@yahoo.co.jp | H 6 |
| 岩井 敏郎 | 820-8505 | 飯塚病院 心臓血管外科：福岡県飯塚市芳雄町3-83 | 0948-22-3800 | tiwai@heart.med.kyushu-u.ac.jp | 九大心臓血管外科 |
| | 814-0002 | 福岡市早良区西新2丁目20-1-402 | 092-821-7225 | | H 7 |
| 宗 英吾 | 852-8501 | 長崎大学付属病院 耳鼻科 | 095-826-2472 | | 耳鼻科 |
| | 850-0871 | 長崎市麹屋町2-13 だるまビル303 | | | H 7 |
| 中桶 了太 | 852-8523 | 長崎大学医学部第1薬理学教室：長崎市坂本1-12-4 | 095-849-7043 | | 第1薬理 |
| | | 5316 Pershing APT 501, St. Louis, MO, 63112 U.S.A | 314-454-3863 | nakaake-ngs@umln.ac.jp | H 7 |
| 藤本 武士 | 825-8567 | 田川市立病院：福岡県田川市大字糰1700-2 | 0947-44-2100 | tfujimoto@hospital.tagawa.fukuoka.jp | 第1内科 |
| | 825-0005 | 福岡県田川市大字糰1700-2 | 0947-44-2100 | | H 7 |
| 安田 恵多良 | 550-0015 | 大野記念病院：大阪府大阪市 西区南堀江1-26-10 | 06-6531-1815 | | 大阪大脳外科 |
| | | | 06-6531-3133 | Kayo-ts@zpb3.so-net.ne.jp | H 7 |
| 古賀 洋安 | 877-1292 | 日田市大字三和643 番地の7 済生会日田病院小児科 | 01636-8-2341 | | 久留米大小児科 |
| | 098-5204 | 北海道枝幸郡歌登町南町403-60 | 01636-8-3881 | hirokkko@mx6.tiki.ne.jp | H 8 |
| 城田 利彦 | 812-0054 | 九州大学附属病院心臓外科：福岡市東区馬出3丁目1-1 | 092-642-6942 | tshirota@medeng.med.kyushu-u.ac.jp | 九大心臓血管外科 |
| | 810-0062 | 福岡市中央区荒戸2-2-5-803 | 092-751-7765 | | H 8 |
| 関 徹 | 980-8574 | 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 | 022-717-7262 | QMP07174@nifty.ne.jp | 東北大精神科 |
| | 980-0914 | 仙台市青葉区堤通雨宮町2-38-1101 | 022-274-6311 | | H 8 |

| | | | | |
|-------|---|---------------|-----------------------------|--------|
| 武野 正義 | 国立循環器病センター心臓内科：吹田市藤白台5-7-1 | 06-6833-5012 | mtakeno@hsp.ncvc.go.jp | 第3内科 |
| | 562-0026 大阪府箕面市外院2丁目16-11ビル7箕面201号 | 0727-26-8970 | | H 8 |
| 福田 顕三 | 850-8555 長崎市新地町6-39 長崎市立市民病院外科 | 095-849-7316 | | 第1外科 |
| | 852-8157 長崎市泉2丁目1-23 | 095-842-1158 | | H 8 |
| 山里 昌司 | 825-8567 田川市立病院：福岡県田川市大字橋1700-2 | 0947-44-2100 | | 第3内科 |
| | 825-0002 福岡県田川市桐ヶ丘7組医師住宅11-A | 0947-45-3025 | | H 8 |
| 岡 真一郎 | 870-0857 大分共立病院：大分市明礪四組 | 097-543-1177 | | 第2内科 |
| | 870-0814 大分市南王子町2丁目8-6サーパス学園前201 | 097-546-0460 | | H 9 |
| 岡田和一郎 | 440-8510 豊橋市飯村町字高山11番地 国立療養所豊橋東病院 | 0532-62-0301 | | 慶応大耳鼻科 |
| | 440-0033 愛知県豊橋市東岩田4丁目5-1Aの301 | 090-1625-8528 | | H 9 |
| 牟田口 滋 | 839-0801 久留米市宮ノ陣3丁目3番8号 古賀病院21 | 043-381-5661 | | 九大整形外科 |
| | 839-0817 福岡県久留米市山川町3-6クリアハイツ201号 | 093-391-9366 | shigemuta@ybb.ne.jp | H 9 |
| 大石 正雄 | 805-0012 北九州市立八幡病院形成外科：北九州市八幡東区西本町4丁目18-1 | 093-662-6565 | | 形成外科 |
| | 806-0023 北九州市八幡西区八千代町1-14 クレペール八千代306 | 093-645-0638 | moishi999@hotmail.com | H 10 |
| 古賀 聖士 | 852-8102 長大付属病院第2内科：長崎市坂本1丁目7-1 | 095-849-7274 | | 第2内科 |
| | 850-0056 長崎市恵美須町2-25-1003 | 095-825-7505 | kogase@mac.com | H 10 |
| 崎元 暢 | 173-8610 日本大学医学部眼科：板橋区大谷口上町30-1 | 03-3972-8111 | torusaki@med.nihon-u.ac.jp | 日大眼科 |
| | 108-0072 港区白金2-7-17-1102 | 03-3443-3313 | toruotto@mwe.biglobe.ne.jp | H 10 |
| 山崎 励至 | 852-8102 長大附属病院原研内科：長崎市坂本1丁目7-1 | | | 原研内科 |
| | 851-2127 西彼杵郡長与町高田郷151-61 | 095-814-6446 | reishi@net.nagasaki-u.ac.jp | H 10 |
| 高橋 優二 | 福井大学付属病院救急部 | | yujibika@pop16.odn.ne.jp | 耳鼻科 |
| | 910-0803 福井県福井市高柳町28-10-3-2ピカパルス102号 | 0776-54-8226 | | |

| | | | | |
|-------|---|------------------------------|----------------------------|----------------|
| 谷川 治 | 066-0021 北海道千歳市東郊1-4-18 千歳皮膚形成外科クリニック 066-0066 北海道千歳市大和1-1-18-608 | | | 福岡大皮膚科 H11 |
| 牧野 淳 | 130-8575 都立墨東病院：東京都墨田区江東橋4-23-15 130-0022 東京都墨田区江東橋4-23-15-323 | 03-3633-6151 03-5624-5058 | j.makino@ma5.justnet.ne.jp | 千葉大第2内科 H11 |
| 宮崎 浩充 | 東北大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 981-3133 仙台市泉区泉中央3丁目7-8 ガーデンプラザ泉中央401 | 022-773-4866 | hiro-m@y71.so-net.ne.jp | 耳鼻科 H11 |
| 山本 経之 | 北九州総合病院：北九州市湯川5丁目10-10 | 0957-52-3121 0957-52-0765 | cds30130@syd.odn.ne.jp | 形成外科 H11 |
| 吉野 俊平 | 福岡飯塚病院：飯塚市芳雄町3-83 820-0005 飯塚市新飯塚6-6-607 | 0948-22-3800 0948-23-8590 | syoshi26@aol.com | 飯塚病院 H11 |
| 澁谷 正樹 | 755-0067 山口大附属病院第2内科：山口県宇部市南小串1-1-1 755-0035 宇部市西琴芝2丁目10-23-203 | 0836-22-2653 0836-29-0428 | bc8m-sby@asahi-net.or.jp | 山口大第2内科 H12 |
| 土井 晋平 | 671-2576 央粟（しそう）郡山崎町鹿沢93 公立央粟総合病院 | | | 神戸大第2内科 H12 |
| 福田 義文 | 651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3番地兵庫県立光風病院 675-0104 加古川市平岡町土山1-13 ハルテアーL302 | 078-581-1013 078-941-1544 | a807445@moco.ne.jp | H12 愛媛大眼科 |
| 程野 茂樹 | 愛媛大学眼科 799-3111 愛媛県伊予市下吾川676-1 | 0899-83-3504 | | H12 |
| 松永 祥志 | 857-1195 佐世保市大和町15番地 佐世保 中央病院麻酔科 852-8137 長崎市若葉町3-3 シヤトー若葉503 | 095-849-7465 | | 脳外科 H12 |
| 及川 将弘 | 870-0856 大分市畑中県病宿舍202 | 090-1167-8282 | | 麻酔科 H13 |

| | | | | |
|--------|----------|--------------------------------|-------------------------------|-----------|
| 森 創 | 850-8555 | 長崎市民病院小児科・長崎市新地町 6-39 | mailto:neomoris@k2.dion.ne.jp | |
| | 850-0924 | 長崎市出雲 1-8-36 805 号 | mailto:neomoris@ezweb.ne.jp | H 1 3 |
| ウイケンロン | 162-8666 | 東京女子医科大学病院：東京都新宿区河田町 8-1 | 03-3353-8111 | 心臓血管外科 |
| | | 東京都新宿区住吉町 14-9 カーサボンニータ 3-C | 090-9408-8805 | H 1 3 |
| 松本 周平 | | 佐世保共済病院麻酔科： | | |
| | 857-0812 | 佐世保市須佐町 14-25-101 号 | | H 1 3 |
| 諸藤 陽一 | 857-1162 | 佐世保市卸本町 30-42 石坂脳神経外科 | 0956-34-0606 | |
| | 857-1162 | 佐世保市卸本町 30-44 石坂脳神経外科医師会公舎 | | H 1 3 |
| | | | yoiichi151@hotmail.com | |
| 蓬萊 彰士 | 852-8102 | 長大医学部第 1 薬理学教室：長崎市坂本 1 丁目 12-4 | | 精神神経科 |
| | 852-8116 | 長崎市平和町 8-23 パークサイド平野町 202 | 090-1369-5720 | H 1 4 |
| 青山 英和 | | 山口大学大学院医学研究所応用医学工学系 | 0837-23-0033 | 山口大第 2 内科 |
| | 755-0067 | 山口県宇部市小串 386-1-301 | | H 1 4 |
| 西條 知見 | 852-8102 | 長大付属病院第 2 内科：長崎市坂本 1 丁目 7-1 | | 第 2 内科 |
| | 852-8116 | 長崎市平和町 20-16 エンジェルコート白川 201 | 095-848-9751 | H 1 4 |
| 高木 理博 | 857-0134 | 佐世保市瀬戸越 2 丁目 12-5 長崎労災病院 | 0947-44-2100 | 熱研内科 |
| | 857-0134 | 佐世保市瀬戸越 2 丁目 11-3 1 号 宿舍 1-5 | 0947-42-8680 | H 1 4 |
| 田辺 孝大 | 852-8104 | 長崎原爆病院長崎市茂里町 3-15 | 095-847-1511 | 麻酔科 |
| | 852-8123 | 三原 1 丁目 1 番 23 号 ヴァイナルソノ平川 101 | 095-848-4449 | H 1 4 |
| 渡辺 庸平 | 980-8574 | 東北大学付属病院小児科：仙台市青葉区星陵町 1_1 | | 小児科 |
| | 980-0824 | 仙台市青葉区支倉町 4-27 TC 支倉 601 号 | 090-7549-9602 | H 1 4 |
| | | | nabe-76@eagle.ocn.ne.jp | |
| 崎元 晋 | 565-0871 | 阪大付属病院眼科大阪府吹田市山田丘 2-2 | | 阪大眼科 |
| | 562-0014 | 大阪府箕面市董野 2 丁目 3-5-202 | 072-721-2663 | H 1 5 |

猪狩 圭介

856-8562 大村市久原 1001-1 あかしや荘 305号

H16

近藤 学 756-0095 山口県山陽小野田市小野田 1315-4

0836-83-2881

755-0049 山口県宇部市西小串一丁目3番15号ピザレストラン 805号室

0836-35-2524

golgo0307@hotmail.com

H16

田浦 康明 850-8555 長崎市立市民病院：長崎市新地町 6-39

095-822-3251

852-8116 長崎市平和町 9-2-402

095-847-7336

leuchten@rio.odn.ne.jp

H16

豊田 啓介 857-0056 佐世保市立総合病院：佐世保市平瀬町 9-3

090-7150-6905

857-1151 佐世保市日宇町 522-4 A16号

090-7150-6905

enzokun355@ybb.ne.jp

H16

山口 仁平 857-1195 佐世保中央病院：佐世保市大和町 15番地

0956-33-7151

857-1195 佐世保市大和町 826 番フリーストインピザ D棟 217

ynimpei@hotmail.com

H16

吉武 紀一 755-8505 山口大学医学部附属病院：山口県宇部市南小串 1-1-1

0836-22-2129

747-0836 山口県防府市大字植松 1799

0835-29-0363

kiichi_12_23@yahoo.co.jp

H16



プロトンポンプ・インヒビター

オメプラール®錠10/20

Omepral® Tablets 10・Tablets 20 オメプラゾール錠

指定医薬品, 処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

プロトンポンプ・インヒビター

オメプラール®注用20

Omepral® Injection 20 オメプラゾールナトリウム注射剤

指定医薬品, 処方せん医薬品^{注)} 薬価基準収載

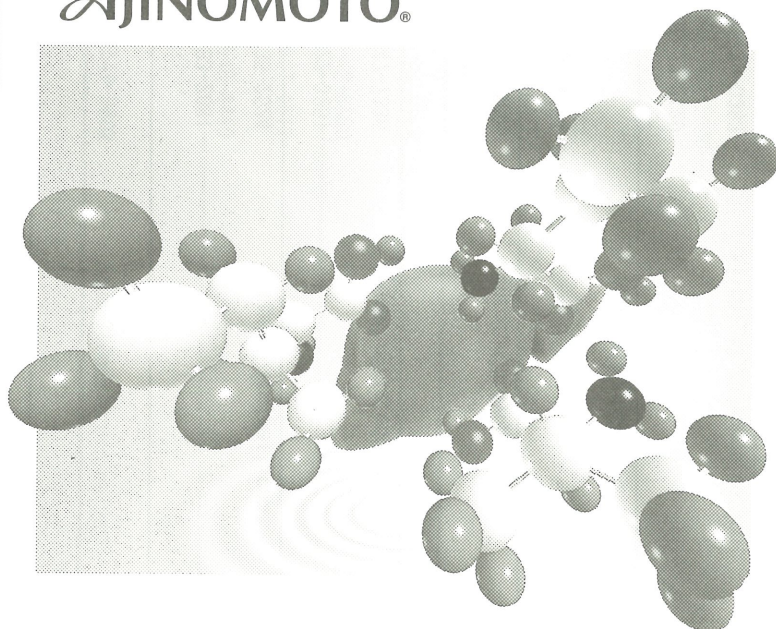
注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、各製品添付文書をご参照下さい。

製造販売元(資料請求先) **アストラゼネカ株式会社** 大阪市北区大淀中1丁目1番88号

2005年4月作成

AJINOMOTO®



分岐鎖アミノ酸製剤

リーバクト® 顆粒

LIVACT® Granules

●薬価基準収載

★「効能・効果」、「用法・用量」、
「禁忌を含む使用上の注意」等詳細は
現品添付文書をご参照ください。

発売(資料請求先)



味の素ファルマ株式会社 学術研修部

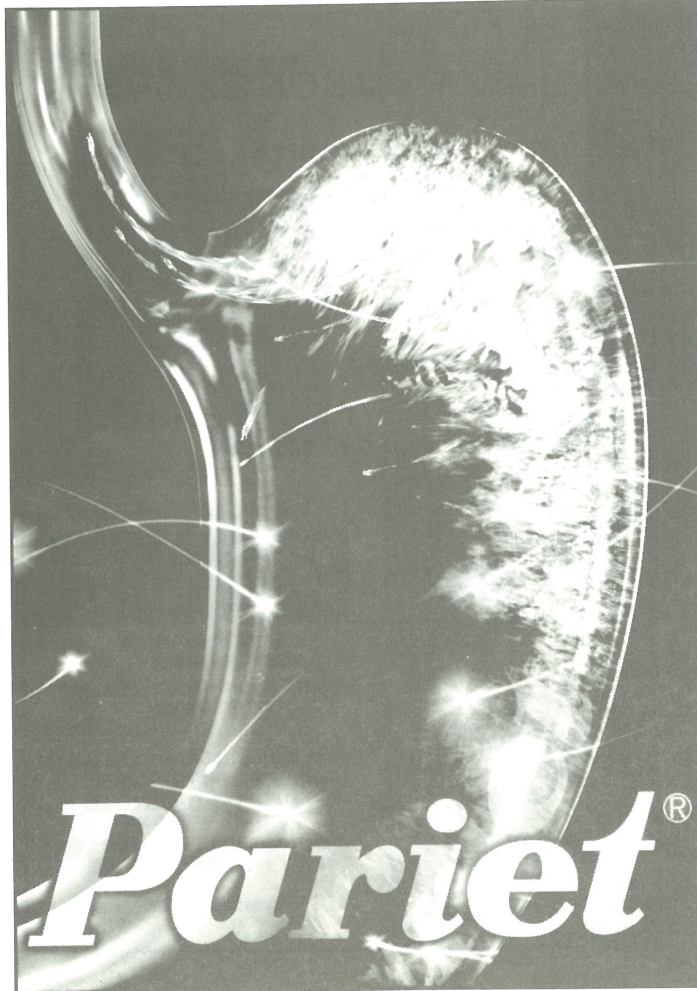
〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号

製造販売

味の素株式会社

〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号

2005年4月作成
LIV-JB52-0405-KK



Pariet[®]

指定医薬品・処方せん医薬品*
プロトンポンプ阻害剤

[薬価基準収載]

パリエット[®] 錠10mg
錠20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

* 注意—医師等の処方せんにより使用すること

●効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

kyo

Eisai

エーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：エーザイ株式会社 お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

PT0504-6 2005年4月作成



KYOWA



「できそうだ」の
協和発酵から、
バイオは、あれこれできそうだと
可能性を追求する時代から、
同時に、もっと差し迫った目前の課題、
たとえば、ゲノム創薬やアミノ酸製品の開発
などの実用化を急ぐ時代に入りました。
ゲノム研究もアミノ酸事業も協和発酵が
最先端を走ってきた専門領域です。
どちらも人の健康と生命に関わる事業です。
結果を急ぎ過ぎることなく、しかし
一日も早く結果を出さなければなりません。
協和発酵のきのうまでの仕事と
明日からの仕事を試される時代です。

「できました」の
協和発酵へ。



協和発酵

東京都千代田区大手町1丁目6番1号 電話03-3282-0980 ホームページアドレス <http://www.kyowa.co.jp/>



シオノギにはSONGがあります。

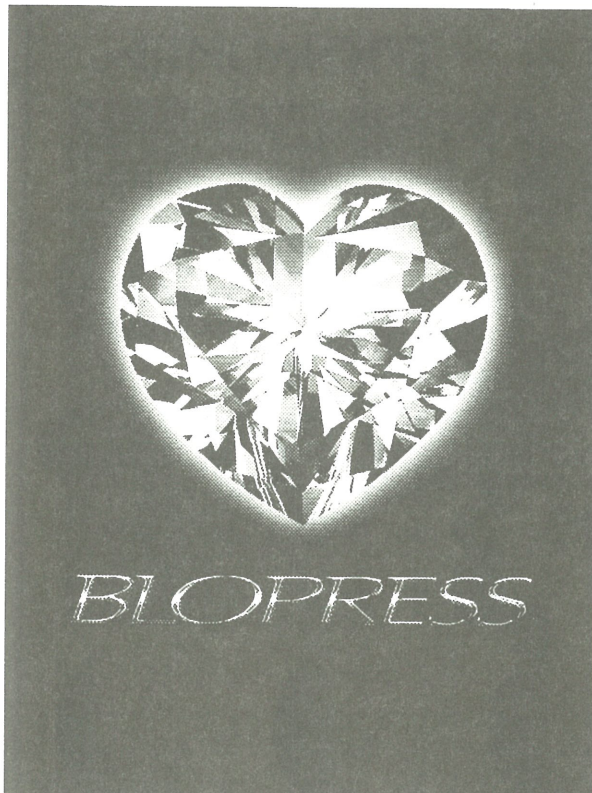
歌が人々を励まし、元気づけてきたように
くすりが人々の心とカラダを立ちなおらせてきたように
歌とくすりは、どちらも人を癒すチカラを
もっているとおもうのです。

誰もが明るくすこやかに毎日をすごせるために
私たちは、これからもより良いくすりをつくっていきたい。
そんな想いをこめて、あなたのために。

SONG for you. シオノギ製薬です。

 **シオノギ製薬**
<http://www.shionogi.co.jp/>

2004.8.B53



持続性 アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤

指定医薬品、要指示医薬品*

ブロプレス[®]錠

2・4・8・12

(カンデサルタン シレキセチル錠)

* (注意-医師等の処方せん・指示により使用すること)

■ 効能・効果、用法・用量、禁忌・使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

■ 薬価基準: 収載

BLOPRESS[®]

〔資料請求先〕



武田薬品工業株式会社

〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

<http://www.takeda.co.jp/>

(0308:B52)



生薬三十一種配合 医薬品

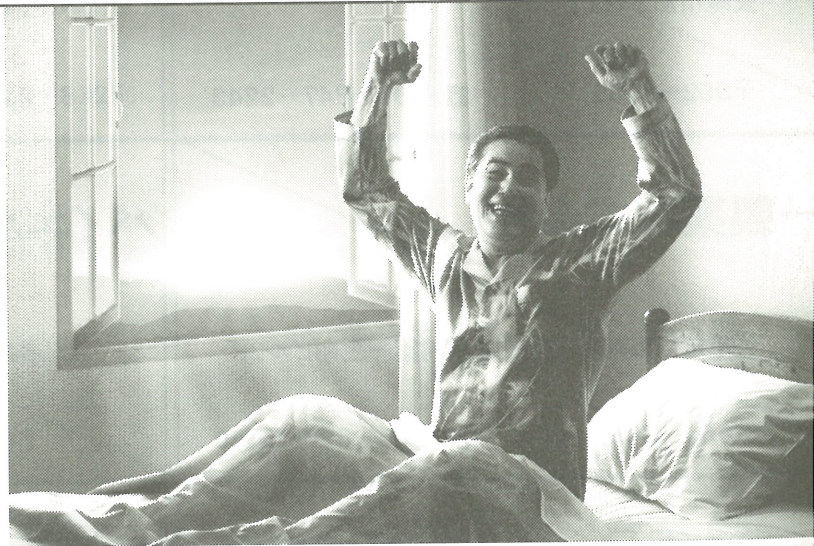
ナンパオ[®]

【効能】 更年期以降における
疲労倦怠感を伴う腰痛・肩こり
【用法・用量】 成人1回2カプセルを1日2回、
朝晩食後に服用

- 商品についてのお問い合わせは、
田辺製薬(株)「お客様相談センター」
☎0120-54-7080
(弊社営業日の9:00~17:30)
- ナンパオのお買い求めは、全国の
薬局・薬店でお願いいたします。
- www.tanabe.co.jp/nanpao/

続ける生薬、
続く元気。
効き目を、
生薬31種の
カプセルに。

MICARDIS
TELMISARTAN



胆汁排泄型持続性AT₁受容体ブロッカー (テルミサルタン製剤)

ミカルディス[®] 錠 20mg 40mg

指定医薬品、処方せん医薬品(注意—医師等の処方せんにより使用すること)

薬価基準収載

- 禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

発売 アステラス製薬株式会社

東京都板橋区蓮根3-17-1

【資料請求先】本社/東京都中央区日本橋本町2-3-11

製造販売 日本ベーリンガーインゲルハム株式会社

東京都千代田区猿樂町2丁目8番8号

資料請求先:メディカルアフェアーズ部DIセンターグループ

祝 「漕魂」 26号発行

小野薬品工業株式会社

長崎市出島町1-14 出島朝日生命青木ビル8F

〒850-0862 ☎ 095-822-8271

大日本製薬株式会社

長崎市万才町8-22 長崎朝日ビル6F

〒850-0033 ☎ 095-821-8412

カネボウ薬品株式会社

東京都港区海岸3-20-20

〒108-8080 ☎ 03-5446-3300

中外製薬株式会社

長崎市西坂町2-3 長崎駅前第一生命ビル7F

〒850-0051 ☎ 095-825-4772

大鵬薬品工業株式会社

長崎市油木町11-5

〒852-8035 ☎ 095-847-2243

ノバルティス ファーマ株式会社

長崎市中町1-26 住友生命長崎中町ビル4F

〒850-0055 ☎ 095-827-3600

第一製薬株式会社

長崎市西坂町2-3 長崎駅前第一生命ビル2F

〒850-0051 ☎ 095-826-8050

バイエル薬品株式会社

長崎市平野町12-11 井手ビル5F

〒852-8117 ☎ 095-846-5009

住友製薬株式会社

長崎市興善町4-5 日本団体生命長崎ビル5F

〒850-0032 ☎ 095-824-6715

萬有製薬株式会社

長崎市興善町4-5 日本団体生命長崎ビル6F

〒850-0032 ☎ 095-823-7141

祝 「漕魂」 26号発行

日本化薬株式会社

長崎市千歳町21-1 久部ビル2F

〒852-8135 ☎ 095-849-2777

ファイザー製薬株式会社

長崎市中町1-26 住友生命長崎中町ビル8F

〒850-0055 ☎ 095-827-2443

日本ケミファ株式会社

福岡市博多区住吉3-1-80 オヌキ新博多ビル2F

〒812-0018 ☎ 092-272-1031

三菱ウェルファーマ株式会社

長崎市興善町2-24 長崎第一生命ビル2F

〒850-0032 ☎ 095-832-2000

三共株式会社

長崎市出島町1-14 出島朝日生命青木ビル7F

〒850-0862 ☎ 095-826-8325

他、多数のメーカー様の協賛
有難うございました

編集後記

まず今回漕魂の発行が遅れ、多くの方々にご迷惑をおかけしたことをお詫びします。原因としては引継ぎがうまくいかなかったことが主な原因であると思います。今回の事を教訓にして次回はもっと早くできるように、後輩にもきちんと引継ぎができるように努力していきたいと思ひます。

平成17年11月

編集者代表 大場 修治

名簿の内容を以下のように訂正します。

氏名 _____ 年卒

現住所 _____

勤務先 _____

～通信欄～

【お願い】

毎回、住所録の不備についての苦情を耳に致します。私どもといたしましてもできる限りの努力をしておりますが、特に若いドクターを中心として異動の多い季節に発行するという时期的な問題もあり必ずしも完璧を期し難いのが現状です。

つきましては、氏名・住所・電話番号・勤務先等に変更または誤りがございましたら、上記のハガキにて長崎大学医学部漕艇部まで御通知下さい。

また、通信欄には、ポート部に対する要望や、「漕魂」に対する感想など書いて頂ければ幸いです。